

施 策 評 価 表

令和4年度分

①	施策コード	1・1・1								
②	施策名	親・子ども・地域がひとつになった子育て支援環境の充実	評価担当課	子育て定住推進課			総合戦略	行政経営	過疎	
③	目 標	丸森町は子育てしやすいまちだと感じる保護者の割合					○	-	○	
④	現状と課題	◆ 全国的に、少子化対策は緊急の課題となっています。本町において、出生率は増加に転じていますが、全国平均等を下回る状況にあります。また、核家族化の進行や共働き世帯の増加などもあって、子育て家庭の環境は大きく変化しています。さらに、家庭や地域における子育て力の低下が懸念され、出産や子育てへの不安を抱く親も増加しています。 ◆ 本町では、これまでも保育施設の新設や保育料・医療費の助成など、子育て支援施策の充実に努めてきました。その結果、平成23年以降、出生率が増加するなど一定の成果をあげていますが、より一層、住み慣れた地域で、安心して子どもを育てることができるよう、環境の整備や相談・支援体制の充実が求められています。	施策の内容	子どもを中心に家庭、地域、学校・保育所等、職場、行政など様々な立場の人々が子育て支援に対する理解を深め、意識を共有しながら連携して子育てしやすい環境づくりを推進します。						

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
子育て支援センター利用率	%	40.6	50	50	50	60	60	1.02	60	1.02
			55	56	52	61		1.02		
子育てサポーター育成数	人	15	20	30	30	30	30	0.97	30	0.97
			24	24	29	29		0.97		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
子育て支援センター利用率	%	40.6	50	50	50	60	60	1.02	60	1.02
			55	56	52	61		1.02		
子育てサポーター育成数	人	15	20	30	30	30	30	0.97	30	0.97
			24	24	29	29		0.97		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦	構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
		27,817	24,168	23,486	27,115	32,427	31,946

取組の総括

⑧	1年間の 主な取組 と成果	「略」		
⑨	施策の進行管理 (構成事務事業の評価結 果をもとにした施策の進 捗状況の判定)	○	【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要	
⑩	今後の取組	「略」		

構成事務事業の評価結果

事務事業数	3	事業	
●成果	A	1事業	(33.3%)
	B	1事業	(33.3%)
	C	1事業	(33.3%)
	未実施	事業	(0.0%)
			平均点
			1.0
●コスト	A	3事業	(100.0%)
	B	事業	(0.0%)
	C	事業	(0.0%)
	未実施	事業	(0.0%)
			平均点
			2.0
●進捗率	A	事業	(0.0%)
	B	2事業	(66.7%)
	C	1事業	(33.3%)
	未実施	事業	(0.0%)
			平均点
			0.7
			平均点
			1.2

※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

⑪	次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 「第三期子ども・子育て支援事業計画」の策定に向けて取り組んでいくとともに、国の動向を注視し「こども計画」の策定についても検討する。
	委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

令和4年度分

⑥ 目標指標

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

取組の総括

構成事務事業の評価結果

事務事業別		4	事業	
●成果	A	4事業	(100.0%)	平均点
	B	事業	(0.0%)	
	C	事業	(0.0%)	
未実施		事業	(0.0%)	2.0
●コスト	A	3事業	(75.0%)	平均点
	B	1事業	(25.0%)	
	C	事業	(0.0%)	
未実施		事業	(0.0%)	1.8
●進捗率	A	4事業	(100.0%)	平均点
	B	事業	(0.0%)	
	C	事業	(0.0%)	
未実施		事業	(0.0%)	2.0
未実施		事業	(0.0%)	平均点

※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

1.9

⑪	次年度以降の方針 (主担当課)	【説明欄】 現状維持 保護者のニーズや地域の実情を把握し、保育を必要とする児童が適切な保育サービスを受けられるよう、社会福祉協議会や放課後児童クラブ事業委託業者等と連携して保育環境の充実を図る。
	委員会評価	【委員会意見欄】 現状維持 担当課評価のとおり。

施 策 評 価 表

令和4年度分

① 施策コード 1・1・3

② 施策名	親が子どもとしっかり向き合える環境づくり	評価担当課	子育て定住推進課	総合戦略	行政経営	過疎
				—	—	○
③ 目 標	丸森町は子育てしやすいまちだと感じる保護者の割合					
④ 現状と課題	◆ 全国的に、少子化対策は緊急の課題となっています。本町において、出生率は増加に転じていますが、全国平均等を下回る状況にあります。また、核家族化の進行や共働き世帯の増加などあって、子育て家庭の環境は大きく変化しています。さらに、家庭や地域における子育て力の低下が懸念され、出産や子育てへの不安を抱く親も増加しています。 ◆ 本町では、これまでも保育施設の新設や保育料・医療費の助成など、子育て支援施策の充実に努めてきました。その結果、平成23年以降、出生率が増加するなど一定の成果をあげていますが、より一層、住み慣れた地域で、安心して子どもを育てることができるよう、環境の整備や相談・支援体制の充実に求められています。					
⑤	施策の内容 若い世代が和やかな家庭を育み、子育てに対する喜びを実感し、自信をもってしっかりと子どもに向き合うことができるよう、町民ぐるみで未来の親を育成する体制を整えます。 また、子育て中の親が孤立しないよう地域の交流を積極的に支援し、子育ての喜びを分かち合える環境づくりを推進します。					

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
子育ての不安のある保護者の割合	%	30.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	1.15	40.0	1.15
			23.9	51.1	13.6	46.0		1.15		
								#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
合計特殊出生率	%	1.34	1.60	1.60	1.60	1.30	1.30	0.72	1.3	0.72
			0.96	1.02	0.63	0.94		0.72		
								#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦ 構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
	760	526	2,783	28,936	19,512	18,874

取組の総括

⑧ 1年間の主な取組と成果	「略」	
⑨ 施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	◎	【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩ 今後の取組	「略」	

構成事務事業の評価結果

事務事業別	5	事業	
●成果	A	3事業	(60.0%)
	B	1事業	(20.0%)
	C	1事業	(20.0%)
	未実施	事業	(0.0%)
平均点			
1.4			
●コスト	A	4事業	(80.0%)
	B	1事業	(20.0%)
	C	事業	(0.0%)
	未実施	事業	(0.0%)
平均点			
1.8			
●進捗率	A	1事業	(20.0%)
	B	3事業	(60.0%)
	C	1事業	(20.0%)
	未実施	事業	(0.0%)
平均点			
1.0			
※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出			
1.4			

⑪ 次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 子育て支援体制を整備することで、悩みや不安のある子育て家庭に寄り添った伴走支援を行い、孤立せず住み慣れた地域の中で安心して子育てができるよう支援していく。また、結婚に対する意識調査を実施してニーズを把握し、今後の支援を検討する。
委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

施 策 評 価 表

令和4年度分

①	施策コード	1・1・4							
②	施策名	子どもと家庭の健康を守る環境づくり	評価担当課	保健福祉課		総合戦略	行政経営	過疎	
						○	-	○	
③	目 標	丸森町は子育てしやすいまちだと感じる保護者の割合							
④	現状と課題	◆ 全国的に、少子化対策は緊急の課題となっています。本町において、出生率は増加に転じていますが、全国平均等を下回る状況にあります。また、核家族化の進行や共働き世帯の増加などもあって、子育て家庭の環境は大きく変化しています。さらに、家庭や地域における子育て力の低下が懸念され、出産や子育てへの不安を抱く親も増加しています。 ◆ 本町では、これまでも保育施設の新設や保育料・医療費の助成など、子育て支援施策の充実に努めてきました。その結果、平成23年以降、出生率が増加するなど一定の成果をあげていますが、より一層、住み慣れた地域で、安心して子どもを育てることができるよう、環境の整備や相談・支援体制の充実が求められています。	施策の内容						安心して子どもを産み、喜びと希望をもって子育てができ、すべての子どもが心身ともに健やかに成長できるよう、子どもの命と健康を守るための体制の充実を図ります。

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
乳幼児健診において子どものことで心配がある保護者の割合	%	50.4	40.00	40.00	40.00	40.00	24.75	0.62	40	0.62
			19.70	43.80	23.75	24.75		1.00		
								#DIV/0!		
							#DIV/0!		#DIV/0!	
							#DIV/0!			
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
乳幼児健診において子どものことで心配がある保護者の割合	%	50.4	40.00	40.00	40.00	40.00	24.75	0.62	40	0.62
			19.70	43.80	23.75	24.75		1.00		
								#DIV/0!		
							#DIV/0!		#DIV/0!	
							#DIV/0!			

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦	構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
		215,379	194,886	185,668	174,865	182,210	182,210

取組の総括

⑧	1年間の主な取組と成果	「略」
⑨	施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	◎ 【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩	今後の取組	「略」

構成事務事業の評価結果

事務事業別	15	事業	
●成果	A	9事業	(60.0%)
	B	5事業	(33.3%)
	C	事業	(0.0%)
未実施		1事業	(6.7%)
平均点			1.5
●コスト	A	14事業	(93.3%)
	B	1事業	(6.7%)
	C	事業	(0.0%)
未実施		事業	(0.0%)
平均点			1.9
●進捗率	A	9事業	(60.0%)
	B	5事業	(33.3%)
	C	事業	(0.0%)
未実施		1事業	(6.7%)
平均点			1.5
※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出			1.7

⑪	次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 妊娠期から子育て期にわたり切れ目のない個々のニーズに応じた支援を充実するため、健診・相談等の支援体制の充実を図るとともに、医療費等の経済的支援を含めた子育てしやすい環境の充実を図る。
	委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

施 策 評 価 表

令和4年度分

①	施策コード	1・2・1							
②	施策名	快適に学べる学校教育環境の整備充実	評価担当課	学校教育課		総合戦略	行政経営	過疎	
						—	—	○	
③	目 標	全国学力・学習状況調査結果の向上							
		小学校や中学校の施設の整備・充実に満足している町民の割合							
④	現状と課題	◆ 本町の出生数は年間100人前後で推移していますが、子どもを取り巻く環境は複雑多様化しています。児童・生徒一人ひとりの基礎学力の向上に努めるとともに、個性を尊重し、適応力のあるたくましい心を育てる人間教育が強く求められています。 ◆ 児童数の減少にともない、一部地域の小学校では地域全体で学校のあり方について検討を進めていく必要があります。⇒ 令和4年4月に小学校2校に再編 ◆ 家庭・学校・地域が密接に連携をとりながら、様々な社会経験やゆとりある家庭生活を通じて、豊かな人間形成に努めるとともに、「郷土愛」を育てていくことが求められています。	施策の内容						授業にコンピュータを活用するなど、情報化社会に対応した教育の充実を図ります。また、安心・安全な学校給食の提供やスクールバス等による通学対策のほか、学校施設の老朽化対策や修繕を適正な管理のもとに実施し、より良い教育環境づくりを推進します。

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
ICTを活用した授業回数	回	2,066	2,500	2,500	3,000	3,000	5,700	1.98	3,000	1.98
			2,350	2,400	2,940	5,950		1.04		
								#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
ICTを活用した授業回数	回	2,066	2,500	2,500	3,000	3,000	5,700	1.98	3,000	1.98
			2,350	2,400	2,940	5,950		1.04		
								#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦	構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
		130,120	249,632	204,955	205,863	225,920	277,672

取組の総括

⑧	1年間の主な取組と成果	「略」
⑨	施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	◎ 【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩	今後の取組	「略」

構成事務事業の評価結果

事務事業数	13	事業	
●成果	A	11事業	(84.6%)
	B	2事業	(15.4%)
	C	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)	
平均点			1.8
●コスト	A	11事業	(84.6%)
	B	2事業	(15.4%)
	C	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)	
平均点			1.8
●進捗率	A	9事業	(69.2%)
	B	4事業	(30.8%)
	C	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)	
平均点			1.7
平均点			1.8

※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

⑪	次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 令和4年4月の小学校再編に伴い、丸森小学校大規模改修事業は完了している。また、GIGAスクール構想にある子どもたち一人ひとりに対して個別最適化された創造性を育む教育の実施や情報通信や技術面を含めたICT環境の実現のため、児童生徒一人一台ずつ学習用タブレット端末を導入しており、効果的な授業展開を目指す段階に入っている。更なるICTを活用した授業や導入後の効果を検証していきながら教育活動の充実を図っていく。
	委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

施 策 評 価 表

令和4年度分

①	施策コード	1・2・2							
②	施策名	心豊かに学べる教育内容の充実	評価担当課	学校教育課		総合戦略	行政経営	過疎	
						○	-	○	
③	目 標	全国学力・学習状況調査結果の向上 小学校や中学校の施設の整備・充実に満足している町民の割合							
④ ⑤	現状と課題	◆ 本町の出生数は年間100人前後で推移していますが、子どもを取り巻く環境は複雑多様化しています。児童・生徒一人ひとりの基礎学力の向上に努めるとともに、個性を尊重し、適応力のあるたくましい心を育てる人間教育が強く求められています。 ◆ 児童数の減少にともない、一部地域の小学校では地域全体で学校のあり方について検討を進めていく必要があります。⇒ 令和4年4月に小学校2校に再編 ◆ 家庭・学校・地域が密接に連携をとりながら、様々な社会経験やゆとりある家庭生活を通じて、豊かな人間形成に努めるとともに、「郷土愛」を育てていくことが求められています。	施策の内容						児童・生徒が丸森町内の自然や文化、先人の業績や人々について理解し、夢や希望をもって心豊かに学べるよう、地域の教育資源や教育力を生かした「ふるさと教育」を推進します。

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
放課後学習支援実施学校の割合	%	25.0	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	1.00	100	1.00
			55.56	44.44	44.44	100.00		1.00		
								#DIV/0!		#DIV/0!
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
			25.0	100.00	100.00	100.00	100.00	1.00	100	1.00
放課後学習支援実施学校の割合	%		55.56	44.44	44.44	100.00		1.00		
								#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		#DIV/0!

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦	構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
		40,312	32,690	34,477	38,933	49,373	48,736

取組の総括

⑧	1年間の主な取組と成果	「略」
⑨	施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	◎ 【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩	今後の取組	「略」

構成事務事業の評価結果

事務事業部	19	事業	
●成果 A	11事業	(57.9%)	平均点 1.5
	B	6事業	(31.6%)
	C	1事業	(5.3%)
	未実施	1事業	(5.3%)
●コスト A	8事業	(42.1%)	平均点 1.4
	B	10事業	(52.6%)
	C	事業	(0.0%)
	未実施	1事業	(5.3%)
●進捗率 A	11事業	(57.9%)	平均点 1.5
	B	7事業	(36.8%)
	C	事業	(0.0%)
	未実施	1事業	(5.3%)
※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出			1.5

⑪	次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 在学青少年教育相談員やスクールソーシャルワーカーとの連携を図り、児童生徒の生きる力の育成に取り組む。また、学力調査の結果を分析し、課題解決に向けたきめ細やかな指導と児童生徒の学習意欲を高めるための事業の展開をしていながら、学力向上につなげていく。
	委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

施 策 評 価 表

令和4年度分

①	施策コード	1・2・3							
②	施策名	安心して学べる支援制度の充実	評価担当課	学校教育課			総合戦略	行政経営	過疎
③	目 標	全国学力・学習状況調査結果の向上 小学校や中学校の施設の整備・充実に満足している町民の割合					—	—	—
④	現状と課題	◆ 本町の出生数は年間100人前後で推移していますが、子どもを取り巻く環境は複雑多様化しています。児童・生徒一人ひとりの基礎学力の向上に努めるとともに、個性を尊重し、適応力のあるたくましい心を育てる人間教育が強く求められています。 ◆ 児童数の減少にともない、一部地域の小学校では地域全体で学校のあり方について検討を進めていく必要があります。⇒ 令和4年4月に小学校2校に再編 ◆ 家庭・学校・地域が密接に連携をとりながら、様々な社会経験やゆとりある家庭生活を通じて、豊かな人間形成に努めるとともに、「郷土愛」を育んでいくことが求められています。	施策の内容						児童・生徒への経済的支援を行うとともに地域や関係機関と連携し、防犯及び安全体制の充実を図ります。また、安心・安全な環境を作るとともに、健診等の実施により児童・生徒の良好な教育環境の充実に努めます。

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
支援制度に対する保護者の満足度	%		75	75	75	75	75	1.00	90	0.83
			75	75	75	75		1.00		
								#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		#DIV/0!
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
								#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		#DIV/0!

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦	構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
		31,786	27,982	28,625	23,224	30,691	27,896

取組の総括

⑧	1年間の主な取組と成果	「略」
⑨	施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	◎ 【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩	今後の取組	「略」

構成事務事業の評価結果

事務事業別	9	事業	
●成果	A	7事業	(77.8%)
	B	2事業	(22.2%)
	C	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)	
平均点			1.8
●コスト	A	4事業	(44.4%)
	B	5事業	(55.6%)
	C	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)	
平均点			1.4
●進捗率	A	8事業	(88.9%)
	B	1事業	(11.1%)
	C	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)	
平均点			1.9
※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出			1.7

⑪	次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持 【説明欄】 児童生徒や教職員の健康・安全を確保していくとともに、各種給付事業について周知徹底を図り、適切に給付を行うことにより保護者の経済的負担の軽減に努めていく。心のケアハウス事業については、学校と関係機関と連携を密にしながら、不登校児童生徒への学習支援等を行っていく。
	委員会評価	現状維持 【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

施 策 評 価 表

令和4年度分

①	施策コード	1・3・1										
②	施策名	まちづくりを担う人材育成・活用		評価担当課	生涯学習課			総合戦略	行政経営	過疎		
								○	—	○		
③	目 標	生涯学習の機会や関連情報の提供に満足している市民の割合										
④	現状と課題	◆ 本町では、「生涯学習はまちづくり」を基本に行政が行う事業のほか、各地区の住民自治組織が主体となり様々な生涯学習活動が展開されています。 ◆ 近年、人々の価値観の多様化や情報化の進展などによって、市民の学習意欲や知的好奇心が強まっていることから、人々が、自主的に学び、潤いと生きがいのある生活を送ることができるよう、ニーズにあった生涯学習を展開していく必要があります。 ◆ 女性が職場や家庭・地域等の様々な分野において、個性と能力を十分に発揮し、輝くことができる社会づくりを一層進める必要があります。				施 策 の 内 容		ふるさとと歴史や文化を学ぶ機会や情報の提供、各種講座の開催等により、指導者やリーダーを育成します。また、男女共同参画社会の形成を推進し、女性の社会進出を促します。				

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準 値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実 績/R6目標)
研修参加者数	人	674	700	500	200	475	475	0.82	475	0.82
			473	119	175	391		0.82		
各種講座参加者数	人	1,185	1,400	700	400	500	730	1.57	730	1.08
			574	150	253	786		1.08		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準 値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実 績/R6目標)
研修参加者数	人	674	700	500	200	475	475	0.82	475	0.82
			473	119	175	391		0.82		
各種講座参加者数	人	1,185	1,400	700	400	500	730	1.57	730	1.08
			574	150	253	786		1.08		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦	構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
		4,364	4,464	4,738	3,687	5,961	5,961

取組の総括

⑧	1年間の主な取組と成果	「略」	
⑨	施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	○	【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩	今後の取組	「略」	

構成事務事業の評価結果

事務事業名	11	事業	
●成果 A	2事業	(18.2%)	平均点 0.8
	B	5事業	(45.5%)
	C	4事業	(36.4%)
	未実施	事業	(0.0%)
●コスト A	11事業	(100.0%)	平均点 2.0
	B	事業	(0.0%)
	C	事業	(0.0%)
	未実施	事業	(0.0%)
●進捗率 A	2事業	(18.2%)	平均点 0.8
	B	5事業	(45.5%)
	C	4事業	(36.4%)
	未実施	事業	(0.0%)
※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出			1.2

⑪	次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 これまで、新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮し自粛していた、研修や講座等を開催する際の集団活動の制限が緩和されたため、以前のように学習機会を提供していく。 年度当初に計画していた事業が休止した状況が続いたため新たな事業を展開することは無いが、市民の参加状況を踏まえながら今後の事業の展開について検討していく。
	委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

施 策 評 価 表

令和4年度分

①	施策コード	1・3・2					
②	施策名	いきいき学べる生涯学習環境の充実	評価担当課	生涯学習課	総合戦略	行政経営	過疎
③	目 標	生涯学習の機会や関連情報の提供に満足している町民の割合					
④	現状と課題	◆ 本町では、「生涯学習は人づくり」を基本に行政が行う事業のほか、各地区の住民自治組織が主体となり様々な生涯学習活動が展開されています。 ◆ 近年、人々の価値観の多様化や情報化の進展などによって、町民の学習意欲や知的好奇心が強まっていることから、人々が、自主的に学び、潤いと生きがいのある生活を送ることができるよう、ニーズにあった生涯学習を展開していく必要があります。 ◆ 女性が職場や家庭・地域等の様々な分野において、個性と能力を十分に発揮し、輝くことができる社会づくりを一層進める必要があります。		施策の内容	町民の誰もが生涯を通じて、いつでも、どこでも学ぶことができ、その成果を活かすことができる学習環境を整備するとともに、学校・家庭・地域が協働で生涯学習を推進する体制を整備します。また、幼少期から本にふれる機会を提供し、読書活動を推進します。		

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準 値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実 績/R6目標)
出前講座参加者数	人	3,394	3,000	3,000	3,000	3,000	1,000	0.19	3,000	0.19
			1,518	300	449	565		0.57		
図書貸出冊数	冊	3,072	3,500	3,300	3,000	3,000	3,300	1.09	5,000	0.65
			2,721	797	2,380	3,257		0.99		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準 値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実 績/R6目標)
								#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		#DIV/0!

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦	構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
		5,539	6,652	5,945	5,919	10,523	10,523

取組の総括

⑧	1年間の主な取組と成果	「略」	
⑨	施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	○	【○】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩	今後の取組	「略」	

構成事務事業の評価結果

事務事業数	3	事業	
●成果	A	事業	(0.0%)
	B	2事業	(66.7%)
	C	1事業	(33.3%)
未実施	事業	(0.0%)	平均点
			0.7
●コスト	A	3事業	(100.0%)
	B	事業	(0.0%)
	C	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)	平均点
			2.0
●進捗率	A	事業	(0.0%)
	B	2事業	(66.7%)
	C	1事業	(33.3%)
未実施	事業	(0.0%)	平均点
			0.7
※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出			
			1.1

⑪	次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 住民自治組織と連携し、各地区における生涯学習活動の幅を広げ、出前講座等の活用により自主的な学習活動がさらに展開していけるよう支援していく。 町内図書施設の蔵書を充実しながら、読み聞かせをはじめとする読書活動推進事業を引き続き実施し、町民に対し読書活動の習慣化を目指す。
	委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

施 策 評 価 表

令和4年度分

①	施策コード	1・4・1						
②	施策名	レクリエーションスポーツ活動の推進	評価担当課	生涯学習課		総合戦略	行政経営	過疎
						-	-	-
③	目 標	スポーツ関連事業、各種大会の内容等に満足している割合				誰もが気軽にスポーツを楽しめるように、レクリエーションスポーツ、ニュースポーツを広く普及し、健康づくり、生きがいづくり、地域コミュニティづくりを進めます。		
④ ⑤	現状と課題	◆ ライフスタイルの変化や健康志向の高まりから、スポーツ・レクリエーションに対する関心が高まり、ニーズも多様化しています。 ◆ 本町では、各種施設の維持管理を進めながら、健康や体力づくりに関連した事業を定期的に開催し、町民の健康づくりの機会を創出してきました。なかでも、「丸森ウオーケラー大会」、「サイクルフェスタ丸森」は、レクリエーションスポーツとして浸透しており、「丸森町健康まつり」も定期的に開催しています。 ◆ スポーツは、心身の健全な発達に役立つだけでなく、地域社会の中で交流の場となり、連帯意識の向上につながる機会でもあります。これまで行ってきたスポーツ・レクリエーションの取組みを継承しつつ、町民が自分にあったスポーツを日常生活の中で取り組めるような環境づくりが必要です。			施策の内容			

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
ニュースポーツ事業参加者数	人	1,068	1,400	1,500	300	400	600	0.83	1,700	0.20
			941	42	272	332		0.55		
								#DIV/0!		
								#DIV/0!		#DIV/0!
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
								#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		#DIV/0!

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦	構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
		275	323	518	541	602	602

取組の総括

⑧	1年間の主な取組と成果	「略」	
⑨	施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	◎	【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩	今後の取組	「略」	

構成事務事業の評価結果

事務事業数	1	事業	
●成果	A	1事業	(100.0%)
	B	事業	(0.0%)
	C	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)	平均点
			2.0
●コスト	A	1事業	(100.0%)
	B	事業	(0.0%)
	C	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)	平均点
			2.0
●進捗率	A	1事業	(100.0%)
	B	事業	(0.0%)
	C	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)	平均点
			2.0
※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出			
			2.0

⑪	次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 これまで、新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮し自粛していた、スポーツをはじめとする集団活動の制限が緩和されたため、運動不足や地域間での交流活動を活性化するため、多くの町民が健康増進のための機会を積極的に提供することが望ましい。 年度当初に計画していた事業が休止した状況が続いたため新たな事業を展開することは無いが、町民の参加状況を踏まえながら今後の事業の展開について検討していく。
	委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

施 策 評 価 表

令和4年度分

①	施策コード	1・4・2								
②	施策名	スポーツの振興		評価担当課	生涯学習課			総合戦略	行政経営	過疎
								-	-	○
③	目 標	スポーツの振興								
④	現状と課題	◆ ライフスタイルの変化や健康志向の高まりから、スポーツ・レクリエーションに対する関心が高まり、ニーズも多様化しています。 ◆ 本町では、各種施設の維持管理を進めながら、健康や体力づくりに関連した事業を定期的に開催し、町民の健康づくりの機会を創出してきました。なかでも、「丸森ウオークラリー大会」、「サイクルフェスタ丸森」は、レクリエーションスポーツとして浸透しており、「丸森町健康まつり」も定期的に開催しています。 ◆ スポーツは、心身の健全な発達に役立つだけでなく、地域社会の中で交流の場となり、連帯意識の向上につながる機会でもあります。これまで行ってきたスポーツ・レクリエーションの取組みを継承しつつ、町民が自分にあったスポーツを日常生活の中で取り組めるような環境づくりが必要です。	施策の内容							

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
広域スポーツ大会参加者数	人	1,068	1,500	500	300	300	600	1.73	1,700	0.30
			517	0	225	518		0.86		
スポーツ推進委員活動延人数	人	86	95	40	50	50	60	1.06	100	0.53
			56	31	37	53		0.88		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
								#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		
								#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦	構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
		1,507	357	528	1,089	1,906	1,906

取組の総括

⑧	1年間の主な取組と成果	「略」	
⑨	施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	◎	【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩	今後の取組	「略」	

構成事務事業の評価結果

事務事業数	2	事業	
●成果	A	1事業	(50.0%)
	B	1事業	(50.0%)
	C	事業	(0.0%)
	未実施	事業	(0.0%)
			平均点
			1.5
●コスト	A	1事業	(50.0%)
	B	1事業	(50.0%)
	C	事業	(0.0%)
	未実施	事業	(0.0%)
			平均点
			1.5
●進捗率	A	1事業	(50.0%)
	B	1事業	(50.0%)
	C	事業	(0.0%)
	未実施	事業	(0.0%)
			平均点
			1.5
			※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出
			1.5

⑪	次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 スポーツ推進委員の質の向上を図りながら、丸森町体育協会主催の健康まつりで、室内競技をニュースポーツを実施するなど、町内体育団体と連携しながら体験会を開催するなど、ニュースポーツの普及に努める。
	委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

施 策 評 価 表

令和4年度分

①	施策コード	1・5・1							
②	施策名	文化財の保存活用と地域文化の保存継承	評価担当課	生涯学習課			総合戦略	行政経営	過疎
						-	-	○	
③	目 標	地域の歴史や文化、伝統継承への取組みに満足している町民の割合				施策の内容	地域の歴史・文化の保存と活用を図るため、貴重な地域資源や文化財の発掘保存に努めるとともに、伝統文化の継承と後継者の養成を図ります。活用が可能な文化財については、町民の歴史学習により郷土愛を育み、地域の活性化に活かします。		
④ ⑤	現状と課題	◆ 本町は、阿武隈川舟運の拠点として栄え、郷土の歴史を語る貴重な文化財が豊富にあります。このほか、地織り・わら細工・竹細工等の生活に密着した伝統的技術も残されています。これらは、適切に保存・伝承されており、「まるもりふるさと館」では、先人が築いた歴史や文化遺産の展示を通じて、郷土文化の継承と普及に貢献しています。 ◆ 地域の歴史・文化は、その地域の貴重な財産です。今後も伝統文化を継承していくとともに、町民に貴重な資源として認識してもらい、まちづくりに積極的に活用していくことが必要です。 ◆ 町民は生活の中でのゆとりや潤いを求めるようになり、芸術や文化へ関心も高まってきました。本町では、毎年「総合文化祭」や「芸能発表大会」、「民俗芸能鑑賞のつどい」などが開催され、町民の芸術文化の発表の場となっているほか、文化団体の活動も活発に行われています。							

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
まるもりふるさと館来館者数	人	843	1,300	1,000	1,000	1,000	1,000	0.86	1,500	0.58
			535	734	696	864		0.86		
文化財研修参加数	人	119	120	120	40	90	120	1.34	150	0.81
			89	10	21	121		1.01		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
								#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		
								#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦	構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
		4,981	7,734	5,941	6,241	6,897	6,897

取組の総括

⑧	1年間の主な取組と成果	「略」	
⑨	施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	◎	【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩	今後の取組	「略」	

構成事務事業の評価結果

事務事業別	4	事業		
●成果	A	1事業	(25.0%)	平均点 1.3
	B	3事業	(75.0%)	
	C	事業	(0.0%)	
	未実施	事業	(0.0%)	
●コスト	A	2事業	(50.0%)	平均点 1.5
	B	2事業	(50.0%)	
	C	事業	(0.0%)	
	未実施	事業	(0.0%)	
●進捗率	A	1事業	(25.0%)	平均点 1.3
	B	3事業	(75.0%)	
	C	事業	(0.0%)	
	未実施	事業	(0.0%)	
※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出				1.3

⑪	次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 文化財の保存・活用を図るために引き続き文化財友の会と連携し、研修会などの事業を実施し、町民の文化財への理解と関心を高める。 また、まるもりふるさと館については年3回の企画展を継続し、研修室を活用した常設展示等の企画・立案し新規事業に繋げる。
委員会評価		現状維持	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

施 策 評 価 表

令和4年度分

①	施策コード	1・5・2								
②	施策名	芸術文化の振興			評価担当課	生涯学習課		総合戦略	行政経営	過疎
								-	-	○
③	目 標	地域の歴史や文化、伝統継承への取組みに満足している町民の割合				施策の内容	美術や演劇、音楽等の優れた芸術文化を身近に体験・鑑賞する機会を提供し、感性豊かな町民を育成します。また、芸術文化活動を行っている人たちの発表や広域的な交流を支援し、さらなる学習意欲向上を促します。			
④ ⑤	現状と課題	◆ 本町は、阿武隈川舟運の拠点として栄え、郷土の歴史を語る貴重な文化財が豊富にあります。このほか、地織り・わら細工・竹細工等の生活に密着した伝統的技術も残されています。これらは、適切に保存・伝承されており、「まるもりふるさと館」では、先人が築いた歴史や文化遺産の展示を通じて、郷土文化の継承と普及に貢献しています。 ◆ 地域の歴史・文化は、その地域の貴重な財産です。今後も伝統文化を継承していくとともに、町民に貴重な資源として認識してもらい、まちづくりに積極的に活用していくことが必要です。 ◆ 町民は生活の中でのゆとりや潤いを求めるようになり、芸術や文化へ関心も高まっています。本町では、毎年「総合文化祭」や「芸能発表大会」、「民俗芸能鑑賞のつどい」などが開催され、町民の芸術文化の発表の場となっているほか、文化団体の活動も活発に行われています。								

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
芸術鑑賞参加者数	人	292	300	300	60	100	100	0.94	400	0.24
			121	270	71	94		0.94		
総合文化祭出品数	点	498	600	600	300	300	300	0.91	650	0.42
			0	0	0	274		0.91		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
								#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		
								#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦	構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
		127	309	121	121	310	121

取組の総括

⑧	1年間の 主な取組 と成果	「略」		
⑨	施策の進行管理 (構成事務事業の評価結 果をもとにした施策の進 捗状況の判定)	◎	【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要	
⑩	今後の取組	「略」		

構成事務事業の評価結果

事務事業数	1	事業	
●成果	A	1事業	(100.0%)
	B	事業	(0.0%)
	C	事業	(0.0%)
	未実施	事業	(0.0%)
			平均点
			2.0
●コスト	A	1事業	(100.0%)
	B	事業	(0.0%)
	C	事業	(0.0%)
	未実施	事業	(0.0%)
			平均点
			2.0
●進捗率	A	事業	(0.0%)
	B	事業	(0.0%)
	C	1事業	(100.0%)
	未実施	事業	(0.0%)
			平均点
			0.0
			平均点
			1.3

※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

⑪	次年度以降の方針 (主担当課)	見直しのうえ継続	【説明欄】 引き続き、子どもたちを対象に優れた芸術文化を身近に体験・鑑賞できる機会を提供し、感性豊かな人材を育成する。また、丸森町文化協会主催による総合文化祭や芸能発表大会の開催支援をしていくことで、芸術文化活動を行っている人達に発表の場を提供し学習意欲の向上を図っていく。
	委員会評価	見直しのうえ継続	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

施 策 評 価 表

令和4年度分

①	施策コード	2・1・1							
②	施策名	健康づくりの充実	評価担当課	保健福祉課		総合戦略	行政経営	過疎	
						○	-	○	
③	目 標	健康診断や健康・体力づくり対策に満足している町民の割合							
		病院や診療所など医療施設の充実に満足している町民の割合							
④	現状と課題	◆ ライフスタイルの変化による不適切な食生活や運動不足、ストレスなどによって生活習慣病の要因となるメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)が増加傾向にあります。また、高齢になり脳卒中や認知症などを発症することによって、要介護者が年々増加しています。その対策として、町民誰もができるかぎり心身ともに健康で自立した生活を送るために、生活習慣病を予防し、健康寿命の延伸を図ることが重要な課題となっています。 ◆ 本町では、「丸森町健康日本21地域計画推進委員会」が中心となって町民、行政、各種団体が協働で健康づくり活動に取組み、一定の成果をあげています。 ◆ 本町の医療は、「国民健康保険丸森病院」のほか、民間医療機関が地域の1次医療を担う施設として機能しています。また、一部の山間地域においては、診療所を設けて定期的に診療を行っています。 ◆ 「医療施設の充実」や「休日や夜間診療対策」は、町民ニーズが高いものになっています。 ◆ 近年、急激な高齢化や生活習慣病などによって、医療機関の受診者や救急患者が増加していることから、「国民健康保険丸森病院」の充実や、民間医療機関との連携を引き続き行っていくとともに、町民に身近な医療サービスの提供に向けて、休日や夜間、そして災害時における救急医療を含む地域医療体制の整備充実を図るため、広域的な連携強化が求められています。		施策の内容	疾病を予防するための予防接種や疾病の早期発見・早期治療に向けた各種の健診(検診)を実施するとともに、健康リーダーや関係団体との協働により地域での健康教室や健康相談などに積極的に取り組んでいくことで、地域ぐるみでの健康づくりを推進します。				

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)		
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)	
平均寿命と健康寿命の差(不健康な期間)	年【男】	1.58	1.40	1.40	1.40	1.40	1.40	1.23	1.4	1.23	
			1.74	1.60	1.72	1.72		1.23			
平均寿命と健康寿命の差(不健康な期間)	年【女】	3.66	3.50	3.50	3.50	3.50	3.50	1.14	3.5	1.14	
			4.30	4.27	4.12	3.99		1.14			
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)		
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)	
平均寿命と健康寿命の差(不健康な期間)	年【男】	1.58	1.40	1.40	1.40	1.40	1.40	1.23	1.4	2.85	
			1.74	1.60	1.72	1.72		1.23			
平均寿命と健康寿命の差(不健康な期間)	年【女】	3.66	3.50	3.50	3.50	3.50	3.50	1.14	3.5		
			4.30	4.27	4.12	3.99		1.14			

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦ 構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
	74,555	84,537	216,302	185,527	143,919	114,020

取組の総括

⑧	1年間の主な取組と成果	「略」	
⑨	施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	○	【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩	今後の取組	「略」	

構成事務事業の評価結果

事務事業数	17	事業	
●成果 A	3事業	(17.6%)	平均点
	B	10事業 (58.8%)	
	C	3事業 (17.6%)	
未実施	1事業	(5.9%)	0.9
●コスト A	6事業	(35.3%)	平均点
	B	8事業 (47.1%)	
	C	2事業 (11.8%)	
未実施	1事業	(5.9%)	1.2
●進捗率 A	4事業	(23.5%)	平均点
	B	9事業 (52.9%)	
	C	3事業 (17.6%)	
未実施	1事業	(5.9%)	1.0
※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出			1.0

⑪ 次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 検診未受診者、予防接種未接種者への啓発・周知を行い、受診率、接種率の向上を図るとともに、各種の健康づくり施策を実施していく。
	委員会評価	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

施 策 評 価 表

令和4年度分

①	施策コード	2・1・2							総合戦略	行政経営	過疎	
②	施策名	保健・医療体制の充実		評価担当課		保健福祉課				－	－	○
③	目 標	丸森町は子育てしやすいまちだと感じる保護者の割合					施策 内 容	健康づくりの推進施設である「保健センター」について年間を通して活用できるよう適正な管理運営を行うとともに、様々な健康づくり活動の支援に向けた環境整備を進め、健康づくりのための支援を推進します。また、本町医療の中心施設である「国民健康保険丸森病院」の診療機能の維持向上を図りながら、仙南地域の医療・介護施設との連携を強化し、地域医療体制の整備を推進します。				
④ ⑤	現状と課題	◆ ライフスタイルの変化による不適切な食生活や運動不足、ストレスなどによって生活習慣病の要因となるメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）が増加傾向にあります。また、高齢になり脳卒中や認知症などを発症することによって、要介護者が年々増加しています。その対策として、町民誰もができるかぎり心身ともに健康で自立した生活を送るために、生活習慣病を予防し、健康寿命の延伸を図ることが重要な課題となっています。 ◆ 本町では、「丸森町健康日本21地域計画推進委員会」が中心となって町民、行政、各種団体が協働で健康づくりに取り組み、一定の成果をあげています。 ◆ 本町の医療は、「国民健康保険丸森病院」のほか、民間医療機関が地域の1次医療を担う施設として機能しています。また、一部の山間地域においては、診療所を設けて定期的に診療を行っています。 ◆ 「医療施設の充実」や「休日や夜間診療対策」は、町民ニーズが高いものになっています。 ◆ 近年、急激な高齢化や生活習慣病などによって、医療機関の受診者や救急患者が増加していることから、「国民健康保険丸森病院」の充実や、民間医療機関との連携を引き続き行っていくとともに、町民に身近な医療サービスの提供に向けて、休日や夜間、そして災害時における救急医療を含む地域医療体制の整備充実を図るため、広域的な連携強化が求められています。										

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値（上段）・実績値（下段）						計画目標値（R6年度）	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段：達成率（R4実績／R4目標） 下段：達成率（R4実績／R5目標）	R6年度	達成率（R4実績／R6目標）
休日当番医実施日数	日	70	70	70	70	70	70	1.03	70	1.03
			75	72	72	72	72	1.03		
丸森町保健センター開所日数	日	248	248	145	246	248	246	1.00	248	1.00
			102	130	246	248		1.01		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値（上段）・実績値（下段）						計画目標値（R6年度）	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段：達成率（R4実績／R5目標） 下段：達成率（R4実績／R5目標）	R6年度	達成率（R4実績／R6目標）
								#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		#DIV/0!

構成事務事業の事業費合計（単位：千円）

⑦	構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度（計画）	令和6年度（計画）
		508,056	138,895	89,501	104,166	128,960	326,240

取組の総括

⑧	1年間の主な取組と成果	「略」
⑨	施策の進行管理 （構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定）	◎ 【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩	今後の取組	「略」

構成事務事業の評価結果

事務事業数	5	事業	
●成果	A	4事業	(80.0%)
	B	事業	(0.0%)
	C	1事業	(20.0%)
未実施		事業	(0.0%)
●コスト	A	4事業	(80.0%)
	B	1事業	(20.0%)
	C	事業	(0.0%)
未実施		事業	(0.0%)
●進捗率	A	4事業	(80.0%)
	B	事業	(0.0%)
	C	1事業	(20.0%)
未実施		事業	(0.0%)
※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出			1.7

⑪	次年度以降の方針 （主担当課）	現状維持	【説明欄】 医師会、歯科医師会、医療機関、仙南他市町等と連携し、医療の安定的確保・提供に引き続き取り組む。
	委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

令和4年度分

⑥ 目標指標

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

取組の総括

⑨ 施策の進行管理
(構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)

⑩	今後の取組	「略」
---	-------	-----

⑪

次年度以降の方針 (主担当課)
委員会評価

構成事務事業の評価結果

事務事業数		6	事業	
●成果	A	3事業	(50.0%)	平均点
	B	3事業	(50.0%)	
	C	事業	(0.0%)	1.5
未実施		事業	(0.0%)	
●コスト	A	3事業	(50.0%)	平均点
	B	3事業	(50.0%)	
	C	事業	(0.0%)	1.5
未実施		事業	(0.0%)	
●進捗率	A	3事業	(50.0%)	平均点
	B	3事業	(50.0%)	
	C	事業	(0.0%)	1.5
未実施		事業	(0.0%)	平均点
※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出				1.5

施 策 評 価 表

令和4年度分

①	施策コード	2・2・2						
②	施策名	安心な生活をかなえる支援の充実	評価担当課		保健福祉課	総合戦略	行政経営	過疎
						—	—	○
③	目 標	元気高齢者の割合			施策の内容	支援を必要とする高齢者に対し、一人ひとりの状態を踏まえた最適なサービスを提供するとともに、生活機能を維持・向上させるための介護予防に関するプログラムや生活上の不安を解消するための相談、そして家族への支援活動等に積極的に取り組み、地域における安心した生活の実現を目指します。		
④	現状と課題	◆ 本町は、年少人口の減少と高齢者人口の増加が進んでおり、高齢者人口の割合（平成22年国勢調査）は国（23.0%）や宮城県（22.3%）よりも高く3割以上を占め、着実に少子高齢社会が進行しています。 ◆ 少子高齢化や生活様式の多様化などによって、ひとり暮らし高齢者の増加や地域コミュニティの希薄化が進み、家庭や地域における介護力の低下が懸念されています。それによって、地域での孤立化や緊急時の対応、将来の生活など、不安を抱える高齢者が増えています。 ◆ 高齢化の進行に伴い、日常生活を送る上で様々な支援を必要とする高齢者の増加が予測されることから、住み慣れた地域で安心して生活ができるようにするため、医療・介護・予防・住まい・生活支援を総合的に提供する「地域包括ケアシステム」を構築する必要があります。 ◆ 高齢者が社会参加や生きがいなどを求めており、地域や社会活動への参加意識が高まっています。こういった高齢者の志向やニーズを踏まえ、活動の機会を提供していくことが望まれます。						
⑤								

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準 値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段：達成率(R4実績/R4目標) 下段：達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実 績/R6目 標)
新規の要介護認定者の平均年齢	歳	83.4	84.0	84.1	84.2	84.3	84.4	0.99	84.5	0.99
			83.9	82.8	83.5	83.6		0.99		
要介護認定者中の認知症発症者に占める軽度者(ランクⅡ以下)の割合	%	58.0	60.0	60.6	63.0	63.0	63.0	1.07	63	1.07
			67.9	66.4	65.8	67.2		1.07		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準 値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段：達成率(R4実績/R4目標) 下段：達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実 績/R6目 標)
新規の要介護認定者の平均年齢	歳	83.4	84.0	84.1	84.2	84.3	84.4	0.99	84.5	0.99
			83.9	82.8	83.5	83.6		0.99		
要介護認定者中の認知症発症者に占める軽度者(ランクⅡ以下)の割合	%	58.0	60.0	60.6	63.0	63.0	63.0	1.07	63	1.07
			67.9	66.4	65.8	67.2		1.07		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦	構成事務事業の 事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
		121,133	120,663	122,847	121,627	143,043	121,143

取組の総括

⑧	1年間の 主な取組 と成果	「略」		
⑨	施策の進行管理 (構成事務事業の評価結 果をもとにした施策の進 捗状況の判定)	◎	【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要	
⑩	今後の取組	「略」		

構成事務事業の評価結果

事務事業数		12	事業	平均点
●成果	A	6事業	(50.0%)	
	B	5事業	(41.7%)	
	C	1事業	(8.3%)	
未実施		事業	(0.0%)	1.4
●コスト	A	11事業	(91.7%)	
	B	事業	(0.0%)	
	C	事業	(0.0%)	
未実施		1事業	(8.3%)	1.8
●進捗率	A	8事業	(66.7%)	
	B	4事業	(33.3%)	
	C	事業	(0.0%)	
未実施		事業	(0.0%)	平均点
※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出				1.6

⑪	次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 支援を必要とする高齢者等に対し、一人ひとりの状態に応じた適切な支援を提供することにより、できる限り自立し、安心して生活できるための事業を推進していく。また、被災者に対し、町営住宅等の完成に伴い、地域移行が進むことから、地域定着の見守り支援を行い、安定した日常の取戻しについて支援する。最終再検確認後の課題のある世帯へのフォローも併せて行う。
委員会評価		現状維持	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

施 策 評 価 表

令和4年度分

①	施策コード	2・2・3						
②	施策名	サービスの総合的推進体制の充実	評価担当課	保健福祉課		総合戦略	行政経営	過疎
						○	－	○
③	目 標	元気高齢者の割合						
④	現状と課題	◆ 本町は、年少人口の減少と高齢者人口の増加が進んでおり、高齢者人口の割合（平成22年国勢調査）は国（23.0％）や宮城県（22.3％）よりも高く3割以上を占め、着実に少子高齢社会が進行しています。 ◆ 少子高齢化や生活様式の多様化などによって、ひとり暮らし高齢者の増加や地域コミュニティの希薄化が進み、家庭や地域における介護力の低下が懸念されています。それによって、地域での孤立化や緊急時の対応、将来の生活など、不安を抱える高齢者が増えています。 ◆ 高齢化の進行に伴い、日常生活を送る上で様々な支援を必要とする高齢者の増加が予測されることから、住み慣れた地域で安心して生活を続けることができるようにするため、医療・介護・予防・住まい・生活支援を総合的に提供する「地域包括ケアシステム」を構築する必要があります。 ◆ 高齢者が社会参加や生きがいなどを求めており、地域や社会活動への参加意識が高まっています。こういった高齢者の志向やニーズを踏まえ、活動の機会を提供していくことが望まれます。	施策の内容	行政をはじめとする関係者間の連携・協力のもと、支援を必要とする高齢者に適切なサービスを継続して提供していくための仕組みである「地域包括ケアシステム」を構築して適切に運営することにより、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活するための体制整備を推進します。				
⑤								

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値（上段）・実績値（下段）						計画目標値（R6年度）	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段：達成率（R4実績／R4目標） 下段：達成率（R4実績／R5目標）	R6年度	達成率（R4実績／R6目標）
地域ケア会議開催回数	回	11	22	13	13	10	10	0.60	22	0.27
			6	10	7	6		0.60		
								#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値（上段）・実績値（下段）						計画目標値（R6年度）	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段：達成率（R4実績／R4目標） 下段：達成率（R4実績／R5目標）	R6年度	達成率（R4実績／R6目標）
地域ケア会議開催回数	回	11	22	13	13	10	10	0.60	22	0.27
			6	10	7	6		0.60		

構成事務事業の事業費合計（単位：千円）

⑦	構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度（計画）	令和6年度（計画）
		4,133	3,942	4,882	11,422	8,321	8,321

取組の総括

⑧	1年間の主な取組と成果	「略」
⑨	施策の進行管理（構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定）	◎ 【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩	今後の取組	「略」

構成事務事業の評価結果

事務事業数	4	事業	
●成果	A	1事業	(25.0%)
	B	3事業	(75.0%)
	C	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)	
平均点			1.3
●コスト	A	3事業	(75.0%)
	B	1事業	(25.0%)
	C	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)	
平均点			1.8
●進捗率	A	1事業	(25.0%)
	B	3事業	(75.0%)
	C	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)	
平均点			1.3
※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出			1.4

⑪	次年度以降の方針（担当課）	現状維持	【説明欄】 地域包括ケアシステムの実現に向けて、関係機関が連携し、高齢者等に必要な支援を提供できる体制整備を推進していく。
	委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

施 策 評 価 表

令和4年度分

①	施策コード	2・3・1						
②	施策名	障がい者の生活支援の充実	評価担当課		保健福祉課	総合戦略	行政経営	過疎
						—	—	○
③	目 標	障がい者やボランティア活動の福祉サービスに満足している町民の割合						
④	現状と課題	◆ 障がい福祉サービスは、平成18年4月以降、それまでの障がい種別ごとの提供から障がい種別に関係なく提供される共通のサービスに変わりました。それによって、障がいを持った方を取り巻く社会情勢や環境は大きく変化していることから、多様な施策展開ときめ細かな支援が必要になっています。 ◆ 町内において福祉活動を行っている団体等には、その中心的役割を担っている「民生委員児童委員」や「丸森町社会福祉協議会」をはじめ、住民自治組織、老人クラブ、ボランティア組織などがありますが、情報共有や相互連携が十分でない状況にあります。 ◆ 今後は、障がいを持った方が豊かに暮らすことのできる地域社会の実現に向けて、多様化するニーズに対応し、地域ぐるみで支え合っていくための関係する機関や団体間の協力体制の整備が求められています。				施 策 の 内 容	障がい者が生活・療養する上で必要となる様々なサービスの提供や経済面での支援を行うとともに、関係する機関や各種団体との連携による各種の情報提供や相談等の活動を通して、障がい者が地域で安心して暮らすための支援を推進します。	
⑤								

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準 値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実 績/R6目標)
福祉施設利用者中一般就労に移行した障がい者数	人	0	2.0	2.4	3.0	3.0	3.0	0.00	4	0.00
			0.0	3.0	1.0	0.0		0.00		
								#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準 値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実 績/R6目標)
								#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦	構成事務事業の 事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
		340,038	383,285	402,235	414,400	439,780	434,869

取組の総括

⑧	1年間の 主な取組 と成果	「略」	
⑨	施策の進行管理 (構成事務事業の評価 結果をもとにした施策の 進捗状況の判定)	◎	【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩	今後の取組	「略」	

構成事務事業の評価結果

事務事業型	6	事業		
●成果	A	5事業	(83.3%)	平均点 1.8
	B	1事業	(16.7%)	
	C	事業	(0.0%)	
	未実施	事業	(0.0%)	
●コスト	A	6事業	(100.0%)	平均点 2.0
	B	事業	(0.0%)	
	C	事業	(0.0%)	
	未実施	事業	(0.0%)	
●進捗率	A	5事業	(83.3%)	平均点 1.8
	B	1事業	(16.7%)	
	C	事業	(0.0%)	
	未実施	事業	(0.0%)	平均点 1.9
※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出				

⑪	次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 障害者が生活する上で必要となる各種サービスを提供し、併せて経済的支援や家族の負担軽減を図るとともに、引き続き関 係機関等と連携して、障害があっても住み慣れた地域で安心して暮らせるよう支援していく。
	委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

施 策 評 価 表

令和4年度分

①	施策コード	2・3・2						
②	施策名	地域福祉活動の支援	評価担当課	保健福祉課		総合戦略	行政経営	過疎
						-	-	○
③	目 標	安心して社会保障を受けられていると感じている人の割合			施策 の 内 容	地域福祉の担い手である社会福祉団体やボランティア組織等の多種・多岐にわたる活動を様々な面からサポートし、住民の積極的な参加による地域社会の醸成を進めます。		
④ ⑤	現状と課題	◆ 障がい福祉サービスは、平成18年4月以降、それまでの障がい種別ごとの提供から障がい種別に関係なく提供される共通のサービスに変わりました。それによって、障がいを持った方を取り巻く社会情勢や環境は大きく変化していることから、多様な施策展開ときめ細かな支援が必要になっています。 ◆ 町内において福祉活動を行っている団体等には、その中心的役割を担っている「民生委員児童委員」や「丸森町社会福祉協議会」をはじめ、住民自治組織、老人クラブ、ボランティア組織などがありますが、情報共有や相互連携が十分でない状況にあります。 ◆ 今後は、障がいを持った方が豊かに暮らすことのできる地域社会の実現に向けて、多様化するニーズに対応し、地域ぐるみで支え合っていくための関係する機関や団体間の協力体制の整備が求められています。						

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準 値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)		
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実 績/R6目標)	
ボランティア連絡会登録団体数	人	24	26	26	26	26	23	0.65	27	0.63	
			26	26	25	17		0.74			
ボランティア連絡会登録会員数	人	526	600	610	610	610	344	0.46	650	0.43	
			487	482	476	280		0.81			
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準 値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)		
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実 績/R6目標)	
									#DIV/0!		#DIV/0!
									#DIV/0!		#DIV/0!

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦	構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
		47,140	52,024	49,056	54,806	52,097	52,097

取組の総括

⑧	1年間の 主な取組 と成果	「略」		
⑨	施策の進行管理 (構成事務事業の評価結 果をもとにした施策の進 捗状況の判定)	◎	【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要	
⑩	今後の取組	「略」		

構成事務事業の評価結果

事務事業数		1	事業	平均点
●成果	A	1事業	(100.0%)	
	B	事業	(0.0%)	
	C	事業	(0.0%)	
未実施		事業	(0.0%)	2.0
●コスト	A	1事業	(100.0%)	平均点
	B	事業	(0.0%)	
	C	事業	(0.0%)	
未実施		事業	(0.0%)	2.0
●進捗率	A	1事業	(100.0%)	平均点
	B	事業	(0.0%)	
	C	事業	(0.0%)	
未実施		事業	(0.0%)	2.0
※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出				2.0

⑪	次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 社会福祉団体やボランティア組織等の活動を引き続き支援し、誰もがいきいきと安心して暮らせるまちづくりを推進する。
	委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

令和4年度分

⑥ 目標指標

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

取組の総括

構成事務事業の評価結果

事務事業別	7	事業	
●成果 A	2事業	(28.6%)	平均点
B	2事業	(28.6%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	3事業	(42.9%)	0.9
●コスト A	6事業	(85.7%)	平均点
B	1事業	(14.3%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	1.9
●進捗率 A	2事業	(28.6%)	平均点
B	2事業	(28.6%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	3事業	(42.9%)	0.9
			平均点

※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

1.2

⑪	次年度以降の方針 (主担当課)	【説明欄】 ・引き続き公正に審査を行い、適正に事務手続きを行う。 ・被保険者への保険給付等を円滑に実施するとともに、生活習慣病の発症や重症化の予防につながる保健事業の推進等に努め、医療費の適正化に努める。
	委員会評価	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

施策評価表

令和4年度分

①	施策コード	2・4・2						
②	施策名	後期高齢者医療の健全な運営	評価担当課		保健福祉課	総合戦略	行政経営	過疎
						—	—	—
③	目 標	安心して社会保障を受けられていると感じている人の割合			施策の内容	「宮城県後期高齢者医療広域連合」との連携・協力により、後期高齢者の健康保持と適切な医療の確保に努めるとともに、後期高齢者医療保険料の適正な賦課・徴収に取組み、後期高齢者医療の安定した運営を行います。		
④	現状と課題	◆ 医療保険や介護保険、年金といった社会保障制度は、町民誰もが不安を感じることなく生活するための基盤となることから、常に安定した制度運営を行う必要があります。 ◆ 国民健康保険、後期高齢者医療及び介護保険の運営における財源及び公平性の確保のため、保険税等の滞納が生じないよう収納対策の推進が求められています。 ◆ 本町では、現年度課税分の収納率が前年度水準を維持できるよう、収納特別対策本部を設置して訪問・督促などの徴収活動を実施するとともに、滞納者に対しては、税務署や県税事務所などと連携して差押などの法的手段を講じながら滞納額の解消に努めており、今後も徴収活動を強化しながら収納対策を継続していく必要があります。						
⑤								

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段: 達成率(R4実績/R4目標) 下段: 達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
後期高齢者医療保険料収納率(現年度分)	%	99.9	99.90	99.90	99.90	99.90	99.90	1.00	100	1.00
			100.04	100.20	100.00	99.90		1.00		
								#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段: 達成率(R4実績/R4目標) 下段: 達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
								#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦	構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
		1,890	1,684	1,529	2,572	2,185	2,185

取組の総括

⑧	1年間の主な取組と成果	「略」	
⑨	施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	◎	【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩	今後の取組	「略」	

構成事務事業の評価結果

事務事業数	2	事業	
●成果	A	1事業	(50.0%)
	B	事業	(0.0%)
	C	事業	(0.0%)
未実施		1事業	(50.0%)
平均点			
1.0			
●コスト	A	2事業	(100.0%)
	B	事業	(0.0%)
	C	事業	(0.0%)
未実施		事業	(0.0%)
平均点			
2.0			
●進捗率	A	1事業	(50.0%)
	B	事業	(0.0%)
	C	事業	(0.0%)
未実施		1事業	(50.0%)
平均点			
1.0			
※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出			
1.3			

⑪	次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 ・引き続き、宮城県後期高齢者医療広域連合と連携・協力し、保険料の適正賦課及び迅速な還付処理に努める。
	委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

施 策 評 価 表

令和4年度分

①	施策コード	2・4・3							
②	施策名	介護保険の健全な運営	評価担当課	保健福祉課			総合戦略	行政経営	過疎
							—	—	—
③	目 標	安心して社会保障を受けられていると感じている人の割合							
④	現状と課題	◆ 医療保険や介護保険、年金といった社会保障制度は、町民誰もが不安を感じることなく生活するための基盤となることから、常に安定した制度運営を行う必要があります。 ◆ 国民健康保険、後期高齢者医療及び介護保険の運営における財源及び公平性の確保のため、保険税等の滞納が生じないよう収納対策の推進が求められています。 ◆ 本町では、現年度課税分の収納率が前年度水準を維持できるよう、収納特別対策本部を設置して訪問・督促などの徴収活動を実施するとともに、滞納者に対しては、税務署や県税事務所などと連携して差押などの法的手段を講じながら滞納額の解消に努めており、今後も徴収活動を強化しながら収納対策を継続していく必要があります。							
⑤			施策の内容	介護保険制度についての住民理解を深めるとともに、適正な介護給付費等の給付や確実な介護保険料の賦課・徴収に取組み、介護保険事業の安定した運営を行います。					

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段：達成率(R4実績/R4目標) 下段：達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
介護保険料収納率(現年度分)	%	99.7	99.80	99.80	99.80	99.80	99.80	1.00	100	1.00
			99.90	100.00	99.90	99.70		1.00		
								#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段：達成率(R4実績/R4目標) 下段：達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
								#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦	構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
		1,679,807	1,966,223	1,919,501	1,799,863	1,939,243	1,923,854

取組の総括

⑧	1年間の 主な取組 と成果	「略」		
⑨	施策の進行管理 (構成事務事業の評価結 果をもとにした施策の進 捗状況の判定)	◎	【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要	
⑩	今後の取組	「略」		

構成事務事業の評価結果

事務事業数	5	事業	
●成果	A	4事業	(80.0%)
	B	1事業	(20.0%)
	C	事業	(0.0%)
	未実施	事業	(0.0%)
平均点			
1.8			
●コスト	A	4事業	(80.0%)
	B	1事業	(20.0%)
	C	事業	(0.0%)
	未実施	事業	(0.0%)
平均点			
1.8			
●進捗率	A	4事業	(80.0%)
	B	1事業	(20.0%)
	C	事業	(0.0%)
	未実施	事業	(0.0%)
平均点			
1.8			
※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出			
1.8			

⑪	次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 引き続き、介護保険事業を安定運営するため、今後も適正な保険料の賦課及び迅速な還付処理に努める。
	委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課評価のとおりに。

施策評価表

令和4年度分

①	施策コード	2・4・4								
②	施策名	その他の社会保障の提供	評価担当課	町民税務課			総合戦略	行政経営	過疎	
							—	—	—	
③	目 標	安心して社会保障を受けられていると感じている人の割合								
④	現状と課題	◆ 医療保険や介護保険、年金といった社会保障制度は、町民誰もが不安を感じることなく生活するための基盤となることから、常に安定した制度運営を行う必要があります。 ◆ 国民健康保険、後期高齢者医療及び介護保険の運営における財源及び公平性の確保のため、保険税等の滞納が生じないよう収納対策の推進が求められています。 ◆ 本町では、現年度課税分の収納率が前年度水準を維持できるよう、収納特別対策本部を設置して訪問・督促などの徴収活動を実施するとともに、滞納者に対しては、税務署や県税事務所などと連携して差押などの法的手段を講じながら滞納額の解消に努めており、今後も徴収活動を強化しながら収納対策を継続していく必要があります。	施策の内容							国民年金制度に関する周知を図るとともに相談業務等を行い、国民年金法に基づく事務を行います。また、生活困窮者等に対する経済的支援を行い、安定した生活の確保を推進します。

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
国民年金相談業務件数	件	1,298	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	0.38	1,300	0.38
			607	481	441	495		0.38		
								#DIV/0!		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値						#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		
								#DIV/0!		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦	構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
		5,059	1,770	1,974	1,603	2,193	2,193

取組の総括

⑧	1年間の主な取組と成果	「略」
⑨	施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	◎ 【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩	今後の取組	「略」

構成事務事業の評価結果

事務事業	3	事業	
●成果	A	1事業	(33.3%)
	B	2事業	(66.7%)
	C	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)	平均点
			1.3
●コスト	A	3事業	(100.0%)
	B	事業	(0.0%)
	C	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)	平均点
			2.0
●進捗率	A	3事業	(100.0%)
	B	事業	(0.0%)
	C	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)	平均点
			2.0
※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出			
			1.8

⑪	次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 引き続き、町民誰もが安心して社会保障を受けられるよう制度の運営を行うとともに、公平性の確保のため収納対策の推進に努める。
	委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

施 策 評 価 表

令和4年度分

①	施策コード	3・1・1						
②	施策名	交通安全意識の啓発	評価担当課	総務課		総合戦略	行政経営	過疎
							—	—
③	目 標	安心して暮らせるよう交通安全や防犯、防災対策に満足している町民の割合			施策の内容	交通安全運動や児童の登下校時の指導などを実施することにより交通安全意識を啓発するとともに、町民一丸となった交通事故防止に努めます。近年、高齢者が関係する交通事故が多発していることから、高齢者に対する交通安全教育の徹底を行うとともに、交通ルール遵守とマナーの向上を図ります。		
④ ⑤	現状と課題	◆ 東日本大震災の経験から「自助」「共助」「公助」の重要性が再認識されたところですが、今後も集中豪雨による水害や、大規模地震などの災害への備えが求められます。「丸森町地域防災計画」にかける「自助」「共助」「公助」を防災まちづくりの基本として、引き続き、消防団や自主防災組織の充実を図るとともに、町民、関係機関、行政が連携を図りながら総合的な地域防災活動を展開していく必要があります。 ◆ 本町では、これまで地域防犯活動や交通安全運動など、町民のたゆまない努力により、犯罪抑止や交通事故防止の成果が挙がっています。今後も引き続き、防犯体制の充実や交通環境の改善、交通安全マナーの向上などに地域が一丸となって推進していく必要があります。 ◆ 平成23年3月に起きた東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故による放射性物質により、一部の農林産物の市場出荷制限や風評被害により大きな経済的影響を受けました。現在でも継続的に空間放射線量の測定を行っており、安全性には問題のない値で落ち着いていますが、いまだ出荷制限が解除されていない林産物があり、町民の不安も残っていることから、適切な情報公開や放射線測定などによって慎重に対応していく必要があります。 ◆ 本町の公共施設や住宅の放射性廃棄物の除染は平成26年度に完了しており、各地区に建設した仮置場で適切に保管している状況であります。現在、国が設置を進めている最終処分場の早期決定が待たれており、一日も早い解決が求められています。						

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段: 達成率(R4実績/R4目標) 下段: 達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
交通事故発生件数	件	33	28	27	26	25	24	0.20	25	0.20
			10	15	5	5		0.21		
								#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段: 達成率(R4実績/R4目標) 下段: 達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
								#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦	構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
		6,527	5,552	5,672	6,920	7,628	7,667

取組の総括

⑧	1年間の主な取組と成果	「略」	
⑨	施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	◎	【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩	今後の取組	「略」	

構成事務事業の評価結果

事務事業別		2	事業	平均点
●成果	A	1事業	(50.0%)	
	B	1事業	(50.0%)	
	C	事業	(0.0%)	
	未実施	事業	(0.0%)	
●コスト	A	2事業	(100.0%)	平均点
	B	事業	(0.0%)	
	C	事業	(0.0%)	
	未実施	事業	(0.0%)	
●進捗率	A	1事業	(50.0%)	平均点
	B	1事業	(50.0%)	
	C	事業	(0.0%)	
	未実施	事業	(0.0%)	
※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出				1.7

⑪	次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 町民への交通安全意識の啓蒙と必要な支援を行うことにより、町民一丸となった交通事故防止に努める。
	委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

施策評価表

令和4年度分

①	施策コード	3・1・2						
②	施策名	犯罪のない住みよいまちづくりの推進	評価担当課		総務課	総合戦略	行政経営	過疎
							—	—
③	目 標	安心して暮らせるよう交通安全や防犯、防災対策に満足している町民の割合						
④	現状と課題	◆ 東日本大震災の経験から「自助」「共助」「公助」の重要性が再認識されたところですが、今後も集中豪雨による水害や、大規模地震などの災害への備えが求められます。「丸森町地域防災計画」にかかげる「自助」「共助」「公助」を防災まちづくりの基本として、引き続き、消防団や自主防災組織の充実を図るとともに、町民、関係機関、行政が連携を図りながら総合的な地域防災活動を展開していく必要があります。 ◆ 本町では、これまで地域防犯活動や交通安全運動など、町民のたゆまない努力により、犯罪抑止や交通事故防止の成果が挙がっています。今後も引き続き、防犯体制の充実や交通環境の改善、交通安全マナーの向上などに地域が一丸となって推進していく必要があります。 ◆ 平成23年3月に起きた東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故による放射性物質により、一部の農林産物の市場出荷制限や風評被害により大きな経済的影響を受けました。現在でも継続的に空間放射線量の測定を行っており、安全性には問題のない値で落ち着いていますが、いまだ出荷制限が解除されていない林産物があり、町民の不安も残っていることから、適切な情報公開や放射線測定などによって慎重に対応していく必要があります。 ◆ 本町の公共施設や住宅の放射性廃棄物の除染は平成26年度に完了しており、各地区に建設した仮置場で適切に保管している状況であります。現在、国が設置を進めている最終処分場の早期決定が待たれており、一日も早い解決が求められています。			施策の内容	警察との連携のもと、家庭、学校、地域が一体となって防犯意識の高揚に取組むとともに、犯罪の未然防止に努めます。近年、高齢者を狙った犯罪も増加傾向にあり、特に特殊詐欺については手口が巧妙化、複雑化、多様化していることから、地域が連携し防犯体制の強化、充実を図ります。		
⑤								

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段: 達成率(R4実績/R4目標) 下段: 達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
町内の犯罪件数	件	69	60	59	59	56	56	0.82	50	0.92
			39	30	36	46		0.82		
								#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段: 達成率(R4実績/R4目標) 下段: 達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
								#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦	構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
		6,006	5,439	6,867	7,345	7,245	5,080

取組の総括

⑧	1年間の主な取組と成果	「略」	
⑨	施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	◎	【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩	今後の取組	「略」	

構成事務事業の評価結果

事務事業別		2	事業	平均点
●成果	A	2事業	(100.0%)	
	B	事業	(0.0%)	
	C	事業	(0.0%)	
	未実施	事業	(0.0%)	
●コスト	A	2事業	(100.0%)	平均点
	B	事業	(0.0%)	
	C	事業	(0.0%)	2.0
	未実施	事業	(0.0%)	
●進捗率	A	1事業	(50.0%)	平均点
	B	事業	(0.0%)	
	C	1事業	(50.0%)	1.0
	未実施	事業	(0.0%)	
※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出				1.7

⑪	次年度以降の方針 (主担当課)	拡大	【説明欄】 防犯関係機関と連携しながら、防犯体制の強化を図り、犯罪のないまちを目指す。特に高齢者が特殊詐欺を防止するため、特殊詐欺の予兆に関する情報提供や宮城県が実施している「特殊詐欺電話撃退装置等購入費補助金」の周知を図るとともに、地区の防犯活動への支援を継続する。 また、町独自の「特殊詐欺電話撃退装置等購入費補助金」の導入を検討する。
	委員会評価	拡大	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

施 策 評 価 表

令和4年度分

①	施策コード	3・1・3						
②	施策名	防災・減災のまちづくりの推進	評価担当課	総務課	総合戦略	行政経営	過疎	
					-	-	○	
③	目 標	安心して暮らせるよう交通安全や防犯、防災対策に満足している町民の割合			施策の内容 各地で異常気象や集中豪雨による浸水被害が発生するなど以前とは異なった自然災害が増加していることから、災害に強い、安心・安全のまちづくりに向けて、防火・防災施設の充実に、消防力や緊急時の対応能力を高めるとともに、防災、危機管理に対する町民の意識の向上を図ります。			
④	現状と課題	◆ 東日本大震災の経験から「自助」「共助」「公助」の重要性が再認識されたところですが、今後も集中豪雨による水害や、大規模地震などの災害への備えが求められます。「丸森町地域防災計画」にかかげる「自助」「共助」「公助」を防災まちづくりの基本として、引き続き、消防団や自主防災組織の充実を図るとともに、町民、関係機関、行政が連携を図りながら総合的な地域防災活動を展開していく必要があります。 ◆ 本町では、これまで地域防犯活動や交通安全運動など、町民のたゆまない努力により、犯罪抑止や交通事故防止の成果が挙がっています。今後も引き続き、防犯体制の充実や交通環境の改善、交通安全マナーの向上などに地域が一丸となって推進していく必要があります。 ◆ 平成23年3月に起きた東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故による放射性物質により、一部の農林産物の市場出荷制限や風評被害により大きな経済的影響を受けました。現在でも継続的に空間放射線量の測定を行っており、安全性には問題のない値で落ち着いていますが、いまだ出荷制限が解除されていない林産物があり、町民の不安も残っていることから、適切な情報公開や放射線測定などによって慎重に対応していく必要があります。 ◆ 本町の公共施設や住宅の放射性廃棄物の除染は平成26年度に完了しており、各地区に建設した仮置場で適切に保管している状況であります。現在、国が設置を進めている最終処分場の早期決定が待たれており、一日も早い解決が求められています。						
⑤								

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
自主防災組織の結成率	%	78.0	95.5	100.0	100.0	100.0	100.0	0.98	100	0.98
			98.0	98.0	98.0	98.0		0.98		
								#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
								#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦	構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
		623,301	14,382,947	5,512,398	657,120	195,887	437,778

取組の総括

⑧	1年間の主な取組と成果	「略」	
⑨	施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	○	【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩	今後の取組	「略」	

構成事務事業の評価結果

事務事業数	29	事業	
●成果	A	13事業	(44.8%)
	B	5事業	(17.2%)
	C	6事業	(20.7%)
	未実施	5事業	(17.2%)
			平均点
			1.1
●コスト	A	19事業	(65.5%)
	B	4事業	(13.8%)
	C	1事業	(3.4%)
	未実施	5事業	(17.2%)
			平均点
			1.4
●進捗率	A	12事業	(41.4%)
	B	6事業	(20.7%)
	C	6事業	(20.7%)
	未実施	5事業	(17.2%)
			平均点
			1.0
			平均点
			1.2

※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

⑪	次年度以降の方針 (主担当課)	拡 大	【説明欄】 災害に強い、安心・安全のまちづくりに向け、防火・防災施設の維持管理を継続するとともに、消防力の維持及び緊急時の対応能力の強化を図るため、機能別団員の制度を導入し、団員の確保に努める。また、地域における自助・共助・公助による防災のまちづくりを進めるため、防災学習の実施、自主防災組織の活動支援、住民自治組織等との連携をより一層深め、防災意識の向上を図る。
	委員会評価	拡 大	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

施策評価表

令和4年度分

①	施策コード	3・1・4								
②	施策名	放射能対策の推進	評価担当課	総務課				総合戦略	行政経営	過疎
									—	—
③	目 標	安心して暮らせるよう交通安全や防犯、防災対策に満足している市民の割合			施策の内容	原子力発電所の事故対応により発生した放射性廃棄物の適正管理、最終処分との促進とともに、放射性物質に関する適正な情報の発信、子どもを対象とした甲状腺検査等により、市民が安心・安全に暮らすことができるまちづくりを行います。				
④	現状と課題	◆ 東日本大震災の経験から「自助」「共助」「公助」の重要性が再認識されたところですが、今後も集中豪雨による水害や、大規模地震などの災害への備えが求められます。「丸森町地域防災計画」にかける「自助」「共助」「公助」を防災まちづくりの基本として、引き続き、消防団や自主防災組織の充実を図るとともに、市民、関係機関、行政が連携を図りながら総合的な地域防災活動を展開していく必要があります。 ◆ 本町では、これまで地域防犯活動や交通安全運動など、市民のたゆまない努力により、犯罪抑止や交通事故防止の成果が挙がっています。今後も引き続き、防犯体制の充実や交通環境の改善、交通安全マナーの向上などに地域が一丸となって推進していく必要があります。 ◆ 平成23年3月に起きた東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故による放射性物質により、一部の農林産物の市場出荷制限や風評被害により大きな経済的影響を受けました。現在でも継続的に空間放射線量の測定を行っており、安全性には問題のない値で落ち着いていますが、いまだ出荷制限が解除されていない林産物があり、市民の不安も残っていることから、適切な情報公開や放射線測定などによって慎重に対応していく必要があります。 ◆ 本町の公共施設や住宅の放射性廃棄物の除染は平成26年度に完了しており、各地区に建設した仮置場で適切に保管している状況であります。現在、国が設置を進めている最終処分場の早期決定が待たれており、一日も早い解決が求められています。								

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
放射性廃棄物適正管理率(仮置場)	%	0.0	100	100	100	100	100	1.00	100	1.00
			100	100	100	100		1.00		
放射性廃棄物処理率	%	0.0	100	100	100	100	100	1.00	100	1.00
			100	100	100	100		1.00		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
									#DIV/0!	
								#DIV/0!		#DIV/0!

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦	構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
		30,557	27,479	40,408	32,828	34,458	274,044

取組の総括

⑧	1年間の主な取組と成果	「略」	
⑨	施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	◎	【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩	今後の取組	「略」	

構成事務事業の評価結果

事務事業型	6	事業		
●成果	A	4事業	(66.7%)	平均点
	B	1事業	(16.7%)	
	C	1事業	(16.7%)	
未実施		事業	(0.0%)	1.5
●コスト	A	4事業	(66.7%)	平均点
	B	2事業	(33.3%)	
	C	事業	(0.0%)	
未実施		事業	(0.0%)	1.7
●進捗率	A	6事業	(100.0%)	平均点
	B	事業	(0.0%)	
	C	事業	(0.0%)	
未実施		事業	(0.0%)	2.0
※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出				1.7

⑪	次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 引き続き、市民の安全安心な生活のため、空間・食品等の放射能測定を実施するとともに、汚染廃棄物の処理について、国等と検討・調整を進める。また、東京電力への損害賠償請求も継続し、県や近隣市町村を情報共有しながら、適切な処理を進めていく。
委員会評価		現状維持	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

施 策 評 価 表

令和4年度分

①	施策コード	4・1・1									
②	施策名	地域が輝くまちづくりの推進	評価担当課		企画財政課				総合戦略	行政経営	過疎
									○	-	○
③	目 標	魅力ある地域づくり(地域自治組織活動)に満足している町民の割合				施 策 の 内 容	地域の特色を活かした地区別計画を推進するため、住民自治組織の運営や事業企画の支援を行います。また、まちづくりの中心的役割を担う人材を育成し、行政と町民の協働のもとに地域に密着した自主的な活動を促進することにより、地域が輝くまちづくりを進めます。				
④ ⑤	現状と課題	◆ 平成22年度に町内8地区の公民館を「まちづくりセンター」に改編し、指定管理による地域の特徴を活かした協働のまちづくりを進めてきました。これからも地域の拠点であるまちづくりセンターを中心に、町民がまちづくりの担い手として活躍できる特色ある地域づくりが求められています。 ◆ 地域づくりを進めていくためには、様々な地域活動によるコミュニティの構築、これからの地域を担う人材の育成、各種市民活動団体や組織の相互ネットワークなど、様々な取り組みや仕組みづくりが必要になっています。									

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準 値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実 績/R6目標)
まちづくり活動団体数(NPO団体数)	団体	7	10	11	11	8	8	1.00	8	1.00
			8	8	8	8		1.00		
地区別計画事業に対する参加者数	人	17,286	20,000	16,000	13,000	15,000	20,000	1.31	15,000	1.31
			20,684	12,532	14,747	19,723		0.99		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準 値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実 績/R6目標)
まちづくり活動団体数(NPO団体数)	団体	7	10	11	11	8	8	1.00	8	1.00
			8	8	8	8		1.00		
地区別計画事業に対する参加者数	人	17,286	20,000	16,000	13,000	15,000	20,000	1.31	15,000	1.31
			20,684	12,532	14,747	19,723		0.99		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦	構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
		110,730	131,523	133,066	149,590	196,378	208,685

取組の総括

⑧	1年間の 主な取組 と成果	「略」		
⑨	施策の進行管理 (構成事務事業の評価結 果をもとにした施策の進 捗状況の判定)	◎	【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要	
⑩	今後の取組	「略」		

構成事務事業の評価結果

事務事業別	15	事業	
●成果	A	5事業	(33.3%)
	B	9事業	(60.0%)
	C	1事業	(6.7%)
		平均点	1.3
未実施		事業	(0.0%)
●コスト	A	7事業	(46.7%)
	B	8事業	(53.3%)
	C	事業	(0.0%)
		平均点	1.5
未実施		事業	(0.0%)
●進捗率	A	7事業	(46.7%)
	B	7事業	(46.7%)
	C	1事業	(6.7%)
		平均点	1.4
未実施		事業	(0.0%)
		平均点	1.4

※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

⑪	次年度以降の方針 (主担当課)	拡 大	【説明欄】 地域の特色を活かした地区別計画を推進するため、協働によるまちづくり交付金や、地域おこし協力隊等制度などを積極的に活用し、住民自治組織の運営や事業企画の支援を行います。また、行政と町民の協働を進め、集落支援員制度を導入するなど地域に密着した自主的な活動を促進し、地域が輝くまちづくりを進めます。
	委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 総合計画推進事業については、第6次総合計画策定を予定しているが、そのほかの事業については現状を維持する方向であるため。

施 策 評 価 表

令和4年度分

①	施策コード	4・1・2								
②	施策名	地域コミュニティの基盤づくり		評価担当課	企画財政課			総合戦略	行政経営	過疎
								-	-	○
③	目 標	魅力ある地域づくり(地域自治組織活動)に満足している町民の割合								
④	現状と課題	◆ 平成22年度に町内8地区の公民館を「まちづくりセンター」に改編し、指定管理による地域の特徴を活かした協働のまちづくりを進めてきました。これからも地域の拠点であるまちづくりセンターを中心に、町民がまちづくりの担い手として活躍できる特色ある地域づくりが求められています。 ◆ 地域づくりを進めていくためには、様々な地域活動によるコミュニティの構築、これからの地域を担う人材の育成、各種市民活動団体や組織の相互ネットワークなど、様々な取組みや仕組みづくりが必要になっています。 ◆ コロナ禍により施設の利用に制限がある中、町民が引きこもりにならないよう、感染防止対策を行いながら可能な限り地域活動を行っていく必要があります。								
⑤				施策の内容	8地区の「まちづくりセンター」を地域住民の交流の場として充実させるとともに、地区別計画の事業を展開し、地域の拠点とするため指定管理制度によって、地域住民による主体的な有効活用を推進します。					

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準 値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
まちづくりセンター利用者数	人	6,660	7,000	5,000	5,000	5,000	5,000	0.92	5,000	0.92
			5,343	3,821	3,321	4,610		0.92		
まちづくりセンターへの苦情件数	件	0	0	0	0	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!
			4	0	0	0		#DIV/0!		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準 値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
								#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦	構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
		45,692	49,212	60,836	79,286	62,336	62,336

取組の総括

⑧	1年間の主な取組と成果	「略」	
⑨	施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	○	【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩	今後の取組	「略」	

構成事務事業の評価結果

事務事業型	4	事業	
●成果	A	1事業	(25.0%)
	B	2事業	(50.0%)
	C	1事業	(25.0%)
	未実施	事業	(0.0%)
平均点			
1.0			
●コスト	A	2事業	(50.0%)
	B	2事業	(50.0%)
	C	事業	(0.0%)
	未実施	事業	(0.0%)
平均点			
1.5			
●進捗率	A	1事業	(25.0%)
	B	2事業	(50.0%)
	C	1事業	(25.0%)
	未実施	事業	(0.0%)
平均点			
1.0			
※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出			
1.2			

⑪	次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 8地区の「まちづくりセンター」を地域の拠点とするため指定管理制度によって、地域住民の交流の場として充実させるとともに、地区別計画の事業を展開し、地域住民による主体的な有効活用を推進します。 令和元年東日本台風災害により被災した町営住宅をはじめ、被災地域の再建に際し、関係団体との連携強化を図り、被災町民のコミュニティづくりを支援していきます。
	委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

施 策 評 価 表

令和4年度分

①	施策コード	4・2・1						
②	施策名	行財政を支える基盤の充実	評価担当課		企画財政課	総合戦略	行政経営	過疎
						—	○	○
③	目 標	町役場の行財政改革や経費節減策に満足している町民の割合			施策 の 内 容	町民が利用しやすい行政サービスをめざし、多様化、高度化する町民ニーズに柔軟に対応できるよう職員の意識改革と能力向上に努めます。 また、町が保有する公共施設等については、長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行い、財政負担の軽減や平準化により公共施設の総合的かつ計画的な管理を推進します。		
	目 標	町役場の情報公開に満足している町民の割合						
④	現状と課題	◆ 本町では、人口減少に伴い税収の伸びが見込めず、地方交付税の減額などによって厳しい財政状況が続き、今後も財政の好転が期待できない状況にあります。これからも行財政改革を推進し、健全な行財政運営を図ることが求められています。 ◆ 行政に対する町民ニーズが多様化しており、町民が必要とするサービスを利用しやすい方法で提供することが求められています。また、行財政運営の透明性を高め、町民の信頼と理解を得るためには、より一層の行政情報の公開が求められています。 ◆ 町民の生活圏の拡大やニーズの高度化が進んでいることから、仙南圏域の市町との協力と役割分担が不可欠であり、より一層の広域行政の推進が望まれます。						
⑤								

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
実質公債費比率	%	11.2	12.10	12.10	11.20	9.30	8.20	0.88	12.1	0.68
			11.80	11.20	9.30	8.20		1.00		
将来負担比率	%	74.5	82.60	82.60	11.10	62.00	10.20	0.16	82.6	0.12
			87.40	11.10	4.40	10.20		1.00		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
									#DIV/0!	
								#DIV/0!		#DIV/0!

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦	構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
		354,127	375,158	364,006	449,179	500,987	419,124

取組の総括

⑧	1年間の主な取組と成果	「略」	
⑨	施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	◎	【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩	今後の取組	「略」	

構成事務事業の評価結果

事務事業数	38	事業	
●成果	A	21事業	(55.3%)
	B	6事業	(15.8%)
	C	3事業	(7.9%)
未実施	事業	(0.0%)	
●コスト	A	20事業	(52.6%)
	B	7事業	(18.4%)
	C	2事業	(5.3%)
未実施	事業	(2.6%)	
●進捗率	A	20事業	(52.6%)
	B	7事業	(18.4%)
	C	3事業	(7.9%)
未実施	事業	(0.0%)	
※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出			
			1.6

⑪	次年度以降の方針 (主担当課)	見直しのうえ継続	【説明欄】 町民が利用しやすい行政サービスをめざし、多様化、高度化する町民ニーズに柔軟に対応できるよう職員の意識改革と能力向上に努めます。 また、町が保有する公共施設等については、長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行い、財政負担の軽減や平準化により公共施設の総合的かつ計画的な管理を推進します。
	委員会評価	見直しのうえ継続	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

施 策 評 価 表

令和4年度分

①	施策コード	4・2・2							
②	施策名	開かれた行政サービスの提供	評価担当課		総務課		総合戦略 行政経営 過疎		
							－ ー ー		
③	目 標	魅力ある地域づくり(地域自治組織活動)に満足している町民の割合				施策の内容	町が保有する情報の公開、町の施策や事務事業に係る行政評価の公表、町政懇談会やまちづくり座談会の実施により、行政情報の公開と共有を図り、町民の声を行政運営に反映した開かれた行政を目指します。		
④ ⑤	現状と課題	◆ 本町では、人口減少に伴い税収の伸びが見込めず、地方交付税の減額などによって厳しい財政状況が続き、今後も財政の好転が期待できない状況にあります。これからも行財政改革を推進し、健全な行財政運営を図ることが求められています。 ◆ 行政に対する町民ニーズが多様化しており、町民が必要とするサービスを利用しやすい方法で提供することが求められています。また、行財政運営の透明性を高め、町民の信頼と理解を得るためには、より一層の行政情報の公開が求められています。 ◆ 町民の生活圏の拡大やニーズの高度化が進んでいることから、仙南圏域の市町との協力和役割分担が不可欠であり、より一層の広域行政の推進が望まれます。							

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
町政懇談会やまちづくり座談会の参加者	人		200	280	280	280	280	0.60	280	0.60
		337	125	209	168		0.60			
行財政改革実施計画における目標達成度	%		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.80	100	0.80
		56.0	73.0	80.0	80.0		0.80			
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
								#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		#DIV/0!

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦	構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
		93,471	82,479	79,314	94,638	103,084	80,034

取組の総括

⑧	1年間の 主な取組 と成果	「略」		
⑨	施策の進行管理 (構成事務事業の評価結 果をもとにした施策の進 捗状況の判定)	◎	【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要	
⑩	今後の取組	「略」		

構成事務事業の評価結果

事務事業部	13	事業	
●成果	A	11事業	(84.6%)
	B	2事業	(15.4%)
	C	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)	
平均点			1.8
●コスト	A	13事業	(100.0%)
	B	事業	(0.0%)
	C	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)	
平均点			2.0
●進捗率	A	12事業	(92.3%)
	B	1事業	(7.7%)
	C	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)	
平均点			1.9
※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出			1.9

⑪	次年度以降の方針 (主担当課)	見直しのうえ継続	【説明欄】 町民の声を収集を積極的に行い、情報発信による開かれた行政と地域課題の共有による協働によるまちづくりの推進に取り組むため、より多くの住民が参加できるよう町政懇談会やまちづくり座談会の開催方法等をさらに検討する。
	委員会評価	見直しのうえ継続	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

令和4年度分

⑥ 目標指標

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

取組の総括

⑪	次年度以降の方針 (主担当課)	【説明欄】 拡 大 R5年度において、百々石公園再整備事業に関する検討を行い、R6年度に実施する方向で進める。 他事業は、維持管理が主であるが、引き続き適正な管理を行う。
	委員会評価	【委員会意見欄】 拡 大 担当課評価のとおり。

施策評価表

令和4年度分

①	施策コード	5・1・2							
	② 施策名	資源循環利用の推進	評価担当課		町民税務課	総合戦略	行政経営	過疎	
						—	—	—	
	③ 目 標	豊かで住みよい環境に満足している町民の割合							
④ ⑤	現状と課題	◆ 本町は273.30km²と広大な面積を持ち、その約7割を山林が占め、阿武隈川やその支流域は、多くの優れた自然資源の宝庫となっています。この豊かな自然環境は、人々の生活に潤いを与えるだけではなく、自然とのふれあい、学習、レクリエーションの場としても様々な役割を担っており、保全に努めていく必要があります。 ◆ 潤いのある生活を営んでいくためには、公園・緑地などの身近な緑の適正な維持管理や、良好な景観の保全と創出が求められています。 ◆ ごみの減量化・再資源化や環境美化などについては、これまでも様々な取組みが行われてきましたが、引き続き町民・事業者・行政がそれぞれの役割を明確にしながら、より一層環境に配慮した取組みを推進していくことが望まれます。					施策 の 内 容	資源循環を基本的な取組みとし、3R【Reduceリデュース（廃棄物の発生抑制）、Reuseリユース（再使用）、Recycleリサイクル（再資源化）】に町民等が主体的に取組めるような支援を行います。また、家庭や事業所から排出される廃棄物の適正処理を確保するとともに、廃棄物の不適正排出や不法投棄の対策を強化し、長期的に安心・安全で環境に与える負荷を低減させるごみ処理体制の確保を図ります。	

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準 値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
町民参加型環境講座参加者数	人	20	30	30	30	30	30	2.30	50	1.38
			120	0	29	69		2.30		
リサイクル率	%	23.7	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.91	25	0.91
			23.9	22.6	23.3	22.7		0.91		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準 値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
								#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦	構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
		35,053	38,528	54,721	36,729	61,461	61,461

取組の総括

⑧	1年間の主な取組と成果	「略」	
⑨	施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	◎	【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩	今後の取組	「略」	

構成事務事業の評価結果

事務事業数		2	事業		
●成果	A	2事業	(100.0%)	平均点	2.0
	B	事業	(0.0%)		
	C	事業	(0.0%)		
未実施		事業	(0.0%)		
●コスト	A	2事業	(100.0%)	平均点	2.0
	B	事業	(0.0%)		
	C	事業	(0.0%)		
未実施		事業	(0.0%)		
●進捗率	A	1事業	(50.0%)	平均点	1.5
	B	1事業	(50.0%)		
	C	事業	(0.0%)		
未実施		事業	(0.0%)	平均点	
※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出					1.8

⑪	次年度以降の方針 (担当課)	現状維持	【説明欄】 ・事業の情報発信により、事業促進・ごみ減量化を推進する。 ・町のごみを業者委託により適正に処理し、環境保全を図る。
	委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

施策評価表

令和4年度分

①	施策コード	5・1・3							
②	施策名	環境保全・美化活動の推進	評価担当課		町民税務課		総合戦略	行政経営	過疎
							—	—	—
③	目 標	豊かで住みよい環境に満足している町民の割合				施策の内容	地域の特性や環境資源を生かしながら、町民が主体的に環境保全や美化活動に取り組むことができる支援を行います。また、「環境基本計画」に掲げる町を目指すとともに、環境教育・環境学習の充実を図り、環境の保全と創造に主体的に取り組む人材を育てます。		
④ ⑤	現状と課題	◆ 本町は273.30km2と広大な面積を持ち、その約7割を山林が占め、阿武隈川やその支流域は、多くの優れた自然資源の宝庫となっています。この豊かな自然環境は、人々の生活に潤いを与えるだけではなく、自然とのふれあい、学習、レクリエーションの場としても様々な役割を担っており、保全に努めていく必要があります。 ◆ 潤いのある生活を営んでいくためには、公園・緑地などの身近な緑の適正な維持管理や、良好な景観の保全と創出が求められています。 ◆ ごみの減量化・再資源化や環境美化などについては、これまでも様々な取組みが行われてきましたが、引き続き町民・事業者・行政がそれぞれの役割を明確にしながら、より一層環境に配慮した取組みを推進していくことが望まれます。							

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
一斉清掃活動参加者数	人	2,489	2,700	2,700	2,700	2,700	2,700	0.56	2,700	0.56
			2,351	0	2,297	1,520		0.56		
								#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		#DIV/0!
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
								#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦	構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
		3,335	3,498	4,586	4,101	4,830	4,830

取組の総括

⑧	1年間の主な取組と成果	「略」	
⑨	施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	◎	【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩	今後の取組	「略」	

構成事務事業の評価結果

事務事業	6	事業	
●成果	A	4事業	(66.7%)
	B	1事業	(16.7%)
	C	1事業	(16.7%)
未実施		事業	(0.0%)
平均点			
1.5			
●コスト	A	4事業	(66.7%)
	B	2事業	(33.3%)
	C	事業	(0.0%)
未実施		事業	(0.0%)
平均点			
1.7			
●進捗率	A	3事業	(50.0%)
	B	3事業	(50.0%)
	C	事業	(0.0%)
未実施		事業	(0.0%)
平均点			
1.5			
※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出			
1.6			

⑪	次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 ・町民が主体的に環境保全や美化活動に取り組むことができる支援策として、引き続き子ども向けの環境学習や各地区公衆衛生組合への活動支援等を実施していく。
委員会評価		現状維持	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

令和4年度分

⑥ 目標指標

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

取組の総括

構成事務事業の評価結果

⑪	次年度以降の方針 (主担当課)	縮小	【説明欄】 環境基本計画でも定めている施策であり、低炭素社会の実現に向けて事業推進を図る必要があるとともに、老朽化した空調設備の維持費用が増加してきていることから、環境に配慮した空調設備への改修を進める。
	委員会評価	完了	【委員会意見欄】 事業が令和5年度で完了するため。

施策評価表

令和4年度分

①	施策コード	5・2・2						
	② 施策名	再生可能エネルギーの導入推進	評価担当課		町民税務課	総合戦略	行政経営	過疎
						○	－	○
③	目 標	自然や木々の緑の豊富さに満足している町民の割合						
④	現状と課題	◆ 地球温暖化、オゾン層破壊、天然資源の枯渇、廃棄物の増加など様々な環境問題を背景に、環境へ配慮した取組みが以前にも増して強く求められています。 ◆ 化石燃料の使用拡大が地球温暖化に大きな影響を与えるといわれる中で、環境への負荷が少ない再生可能エネルギーが注目されています。自然環境に恵まれている本町にあっては、地球温暖化への影響が最も大きいとされとされる二酸化炭素を吸収する森林の保全・育成とともに、潜在的なエネルギーの活用について検討し、環境負荷の軽減に努めていくことが必要です。 ◆ 近年急激に進む人口減少や高齢化の影響を受け、荒廃した山林や耕作放棄地などが増加していますが、こうした土地を適正に管理するため、「国土利用計画」を見直し豊かな自然環境の保全に努めていく必要があります。				施策の内容	住宅用太陽光発電設備に対する補助金の交付等により一般家庭や事業所における、環境にやさしく、分散型によるエネルギー供給が可能な再生可能エネルギーの導入を推進します。また、地域の特性を活かした再生可能エネルギーの導入を町民が主体となって検討することで、地域が抱える課題解決への一助となるように事業の取組みを支援します。	
⑤								

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準 値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段: 達成率(R4実績/R4目標) 下段: 達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
導入検討個別部会設置数	件	0	5	5	5	5	5	0.00	8	0.00
			1	0	0	0		0.00		
再生可能エネルギー事業取組み数	件	0	2	2	2	2	2	0.00	4	0.00
			1	0	0	0		0.00		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準 値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段: 達成率(R4実績/R4目標) 下段: 達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
導入検討個別部会設置数	件	0	5	5	5	5	5	0.00	8	0.00
			1	0	0	0		0.00		
再生可能エネルギー事業取組み数	件	0	2	2	2	2	2	0.00	4	
			1	0	0	0		0.00		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦	構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
		2,933	1,529	2,390	879	2,500	2,500

取組の総括

⑧	1年間の主な取組と成果	「略」	
⑨	施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	◎	【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩	今後の取組	「略」	

構成事務事業の評価結果

事務事業	1	事業	
●成果	A	事業	(0.0%)
	B	1事業	(100.0%)
	C	事業	(0.0%)
	未実施	事業	(0.0%)
平均点			
1.0			
●コスト	A	1事業	(100.0%)
	B	事業	(0.0%)
	C	事業	(0.0%)
	未実施	事業	(0.0%)
平均点			
2.0			
●進捗率	A	1事業	(100.0%)
	B	事業	(0.0%)
	C	事業	(0.0%)
	未実施	事業	(0.0%)
平均点			
2.0			
※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出			
1.7			

⑪	次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 ・環境基本計画でも定めている施策であり、低炭素社会の実現に向けて、事業推進を図る。
	委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

施 策 評 価 表

令和4年度分

①	施策コード	5・2・3						
②	施策名	土地利用の合理化、町土の保全	評価担当課		企画財政課	総合戦略	行政経営	過疎
						—	—	—
③	目 標	自然や木々の緑の豊富さに満足している町民の割合						
④ ⑤	現状と課題	◆ 地球温暖化、オゾン層破壊、天然資源の枯渇、廃棄物の増加など様々な環境問題を背景に、環境へ配慮した取組みが以前にも増して強く求められています。 ◆ 化石燃料の使用拡大が地球温暖化に大きな影響を与えるといわれる中で、環境への負荷が少ない再生可能エネルギーが目立っています。自然環境に恵まれている本町においては、地球温暖化への影響が最も大きいとされる二酸化炭素を吸収する森林の保全・育成とともに、潜在的なエネルギーの活用について検討し、環境負荷の軽減に努めていくことが必要です。 ◆ 近年急激に進む人口減少や高齢化の影響を受け、荒廃した山林や耕作放棄地などが増加していますが、こうした土地を適正に管理するため、「国土利用計画」を見直し豊かな自然環境の保全に努めていく必要があります。				施策の内容	本町の計画的な土地利用を推進するため、「国土利用計画」を策定し適正に誘導します。また、乱開発を防止し、緑豊かな環境を保全するため関係法令に基づいた適正な規制・指導を行います。	

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準 値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
自然的土地利用面積(農地、森林、原野、河川等)	ha	22,954	22,855	22,831	22,645	22,151	22,755	7.49	22,755	7.29
			22,746	22,664	22,167	165,840		7.29		
								#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		#DIV/0!
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準 値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
								#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		#DIV/0!

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦	構成事務事業の 事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
		0	0	0	120	120	120

取組の総括

⑧	1年間の 主な取組 と成果	「略」	
⑨	施策の進行管理 (構成事務事業の評価 結果をもとにした施策の 進捗状況の判定)	◎	【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩	今後の取組	「略」	

構成事務事業の評価結果

事務事業別 2 事業			平均点
●成果	A	1事業 (50.0%)	
	B	1事業 (50.0%)	1.5
	C	事業 (0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	
●コスト	A	2事業 (100.0%)	平均点
	B	事業 (0.0%)	
	C	事業 (0.0%)	2.0
未実施	事業	(0.0%)	
●進捗率	A	1事業 (50.0%)	平均点
	B	1事業 (50.0%)	
	C	事業 (0.0%)	1.5
未実施	事業	(0.0%)	平均点
※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出			1.7

⑪	次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 本町の計画的な土地利用を推進するため、「丸森町国土利用計画(第4次)」に基づき適正に対応します。また、太陽光や風力発電等再生可能エネルギー施設の設置に関しては、防災上及び自然・生活環境に及ぼす影響等を注視し、引き続き、開発計画の状況等把握に努め、乱開発に繋がらないよう、県等と連携した対応を行います。また、乱開発を防止し、緑豊かな環境を保全するため関係法令に基づいた適正な規制・指導を行います。
	委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

令和4年度分

⑥ 目標指標

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

取組の総括

構成事務事業の評価結果

事務事業別		25	事業	
●成果	A	9事業	(36.0%)	平均点
	B	7事業	(28.0%)	
	C	9事業	(36.0%)	
未実施		事業	(0.0%)	1.0
●コスト	A	10事業	(40.0%)	平均点
	B	10事業	(40.0%)	
	C	5事業	(20.0%)	
未実施		事業	(0.0%)	1.2
●進捗率	A	10事業	(40.0%)	平均点
	B	9事業	(36.0%)	
	C	6事業	(24.0%)	
未実施		事業	(0.0%)	1.2
未実施		事業	(0.0%)	平均点
※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出				1.1

⑪	次年度以降の方針 (主担当課)	【説明欄】 地域農業の核となる担い手への農地集積・集約化を推進するとともに、丸森町農業振興ビジョンに掲げる振興作物の作付面積の拡大及び販路拡大につながるよう、機械化・施設化や最新技術の導入に対する支援策を継続していく。また、丸森町復旧・復興計画において示した、魅力あふれる農業の再興のため、災害復旧後の農地管理の在り方も含めた地域での話し合いを継続して進めていく。中山間地域においては有害鳥獣による被害が発生していることから、耕作意欲の低下を招かないよう鳥獣被害対策への支援を行うとともに、有害鳥獣減容化処理施設の利活用を推進し、駆除隊員の負担軽減を図っていく。	
	委員会評価	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。	

令和4年度分

⑥ 目標指標

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

取組の総括

構成事務事業の評価結果

※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

⑪	次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持 【説明欄】 丸森産農産物認証制度事業については、農家の高齢化や制度の周知不足により取組者や取組面積が減少していることから、取り組みやすくするため制度の見直しを行うなど、引き続き環境保全型農業を推進し、安全・安心な農産物の提供に努めていく。
	委員会評価	現状維持 【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

施策評価表

令和4年度分

①	施策コード	6・1・3								
②	施策名	農業生産基盤の整備推進	評価担当課	農林課				総合戦略	行政経営	過疎
								—	—	○
③	目 標	農林業の振興(基盤整備や経営指導など)に満足している町民の割合								
④	現状と課題	◆ 本町の農業は、稲作と畜産が生産額の大半を占めていますが、近年では新たな柱の一つとして園芸作物(プロقوقリーや小菊など)の振興にも力を入れています。また、本町は平坦地から中山間地域までを有していることから、地域の特性を活かした農業の展開が求められています。 ◆ 農業を取り巻く情勢は厳しさを増していますが、本町においても例外ではなく、農家数減少、農業従事者の高齢化、後継者不足、耕作放棄地の増加など問題は深刻化しています。本町においては、農業生産基盤の整備や生産技術の向上、将来的な農業の担い手対策など、これらの課題に対応するための取組みを行っています。 ◆ 畜産についても、農家数は減少しておりますが、酪農は、中核的農家の規模拡大が進んでいる一方で、繁殖和牛は小規模農家が多く、飼養頭数は減少傾向になっています。 ◆ 食の安全・安心志向への高まりの中、引き続き環境保全型農業を進めていくとともに、消費者との交流を深めながら、顔の見える農業や地産地消に取り組んでいく必要があります。また、高齢者や女性グループを中心に農産物の加工や直売所などでの販売も広がりを見せており、本町ならではの特産品開発や6次産業化に期待が寄せられています。 ◆ 森林は、本町の行政区域面積の7割を占め、木材生産のほか水源涵養等の多面的機能を有しており重要な役割を担っています。そのため、町の森林整備計画に基づき、貴重な財産である自然環境の保全や水資源の涵養などのため森林の整備に努めるほか、都市住民との交流の場、環境学習の場として活用していくなど、総合的な地域林業の振興が求められます。								
⑤		施策の内容 農業生産性の向上と効率的・安定的な農業経営を図るため、農地、農道及び用排水路等の農業生産基盤の整備を推進します。 あわせて、農業経営の規模拡大と効率化を図るため、農地中間管理機構推進事業等を活用して担い手への農地の集積・集約化を推進します。								

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
担い手への農地集積率	%	17.20	40.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.70	70.0	0.50
			27.6	28.7	34.8	34.8		0.70		
								#DIV/0!	6	0.00
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
								#DIV/0!		#DIV/0!

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦	構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
		10,764	21,599	43,970	34,725	138,949	138,489

取組の総括

⑧	1年間の主な取組と成果	「略」
⑨	施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	△ 【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩	今後の取組	「略」

構成事務事業の評価結果

事務事業	8	事業	
●成果	A	1事業	(12.5%)
	B	4事業	(50.0%)
	C	3事業	(37.5%)
未実施	事業	(0.0%)	
平均点			0.8
●コスト	A	3事業	(37.5%)
	B	2事業	(25.0%)
	C	3事業	(37.5%)
未実施	事業	(0.0%)	
平均点			1.0
●進捗率	A	1事業	(12.5%)
	B	3事業	(37.5%)
	C	4事業	(50.0%)
未実施	事業	(0.0%)	
平均点			0.6
※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出			0.8

⑪	次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 地域にあった集積・集約を進め、担い手への農地集積率の向上を目指すとともに、丸森町復旧・復興計画 重点プロジェクトにおいて甚大な被害を受けた竹谷、新町・羽入地区をモデル地区に選定し、被災した農地の復旧と基盤整備に向けた取組みを進める。
	委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

令和4年度分

⑥ 目標指標

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

取組の総括

構成事務事業の評価結果

※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

⑪	次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 高齢化や担い手不足により組織の維持や活動の継続が難しくなる恐れがあることから、組織の広域化や合併といった長期的に活動を維持できる体制を推進する。
	委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

施策評価表

令和4年度分

①	施策コード	6・1・5						
②	施策名	新たな活力を生む農業担い手の育成	評価担当課	農林課		総合戦略	行政経営	過疎
						○	-	○
③	目 標	農林業の振興(基盤整備や経営指導など)に満足している町民の割合				施策の内容	認定農業者の規模拡大や経営安定の支援、新規就農者の育成確保、集落営農の組織化・法人化を進め、将来的に安定した地域農業の担い手を確保します。	
④	現状と課題	◆ 本町の農業は、稲作と畜産が生産額の大半を占めていますが、近年では新たな柱の一つとして園芸作物(ブロッコリーや小菊など)の振興にも力を入れています。また、本町は平坦地から中山間地域までを有していることから、地域の特性を活かした農業の展開が求められています。 ◆ 農業を取り巻く情勢は厳しさを増していますが、本町においても例外ではなく、農家数減少、農業従事者の高齢化、後継者不足、耕作放棄地の増加など問題は深刻化しています。本町においては、農業生産基盤の整備や生産技術の向上、将来的な農業の担い手対策など、これらの課題に対応するための取組みを行っています。 ◆ 畜産についても、農家数は減少しておりますが、酪農は、中核的農家の規模拡大が進んでいる一方で、繁殖牛は小規模農家が多く、飼養頭数は減少傾向にあります。 ◆ 食の安全・安心志向への高まりの中、引き続き環境保全型農業を進めていくとともに、消費者との交流を深めながら、顔の見える農業や地産地消に取り組んでいく必要があります。また、高齢者や女性グループを中心に農産物の加工や直売所などでの販売も広がりを見せており、本町ならではの特産品開発や6次産業化に期待が寄せられています。 ◆ 森林は、本町の行政区域面積の7割を占め、木材生産のほか水源涵養等の多面的機能を有しており重要な役割を担っています。そのため、町の森林整備計画に基づき、貴重な財産である自然環境の保全や水資源の涵養などのため森林の整備に努めるほか、都市住民との交流の場、環境学習の場として活用していくなど、総合的な地域林業の振興が求められます。						
⑤								

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準 値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実 績/R6目標)
認定農業者数(所得額400万円以上)	経営体	19	25	30	30	30	30	0.27	30	0.27
			14	8	8	8		0.27		
認定新規就農者数【合計】	人	0	5	5	6	6	6	0.33	6	0.33
			3	4	6	2		0.33		
集落営農法人数	経営体	0	5	5	7	8	9	0.63	10	0.50
			4	4	4	5		0.56		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準 値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実 績/R6目標)
認定農業者数(所得額400万円以上)	経営体	19	25	30	30	30	30	0.27	30	0.27
			14	8	8	8		0.27		
集落営農法人数	経営体	0	5	5	7	8	9	0.63	10	0.50
			4	4	4	5		0.56		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦	構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
		36,527	28,056	42,010	25,279	63,155	83,269

取組の総括

⑧	1年間の主な取組と成果	「略」	
⑨	施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	○	【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩	今後の取組	「略」	

構成事務事業の評価結果

事務事業数	14	事業	
●成果 A	6事業	(42.9%)	平均点 1.0
	B	2事業	(14.3%)
	C	6事業	(42.9%)
未実施		事業	(0.0%)
●コスト A	4事業	(28.6%)	平均点 1.0
	B	6事業	(42.9%)
	C	4事業	(28.6%)
未実施		事業	(0.0%)
●進捗率 A	4事業	(28.6%)	平均点 0.9
	B	4事業	(28.6%)
	C	6事業	(42.9%)
未実施		事業	(0.0%)
※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出			1.0

⑪	次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 農業従事者の高齢化や担い手不足により耕作放棄地がこれ以上拡大しないよう、認定農業者の規模拡大や経営安定の支援を行うとともに、町の魅力や農業等に関する情報を発信し、新規就農者の確保に努めていく。また、集落営農の組織の育成や立ち上げの支援を進め、次世代の担い手を育成していく。
	委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

令和4年度分

⑥ 目標指標

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

取組の総括

構成事務事業の評価結果

※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

⑪	次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持 畜産農家の負担軽減と生産拡大を図るためにも、町営放牧場と子牛育成センターの安定した運営を行い、畜産農家の経営安定を目指す。また、自給飼料の生産拡大によるコスト削減を図り、健全な農家経営のために必要な事業を継続していく。
	委員会評価	現状維持 担当課評価のとおり。

施 策 評 価 表

令和4年度分

①	施策コード	6・1・7													
②	施策名	森林資源の活用と多面的機能の充実	評価担当課	農林課	<table><tr><td>総合戦略</td><td>行政経営</td><td>過疎</td></tr><tr><td>—</td><td>—</td><td>○</td></tr></table>					総合戦略	行政経営	過疎	—	—	○
総合戦略	行政経営	過疎													
—	—	○													
③	目 標	農林業の振興(基盤整備や経営指導など)に満足している町民の割合													
④ ⑤	現状と課題	◆ 本町の農業は、稲作と畜産が生産額の大半を占めていますが、近年では新たな柱の一つとして園芸作物(プロقوقリーや小菊など)の振興にも力を入れています。また、本町は平坦地から中山間地域までを有していることから、地域の特性を活かした農業の展開が求められています。 ◆ 農業を取り巻く情勢は厳しさを増していますが、本町においても例外ではなく、農家数減少、農業従事者の高齢化、後継者不足、耕作放棄地の増加など問題は深刻化しています。本町においては、農業生産基盤の整備や生産技術の向上、将来的な農業の担い手対策など、これらの課題に対応するための取組みを行っています。 ◆ 畜産についても、農家数は減少しておりますが、酪農は、中核的農家の規模拡大が進んでいる一方で、繁殖和牛は小規模農家が多く、飼養頭数は減少傾向になっていきます。 ◆ 食の安全・安心志向への高まりの中、引き続き環境保全型農業を進めていくとともに、消費者との交流を深めながら、顔の見える農業や地産地消に取り組んでいく必要があります。また、高齢者や女性グループを中心に農産物の加工や直売所などでの販売も広がりを見せており、本町ならではの特産品開発や6次産業化に期待が寄せられています。 ◆ 森林は、本町の行政区域面積の7割を占め、木材生産のほか水源涵養等の多面的機能を有しており重要な役割を担っています。そのため、町の森林整備計画に基づき、貴重な財産である自然環境の保全や水資源の涵養などのため森林の整備に努めるほか、都市住民との交流の場、環境学習の場として活用していくなど、総合的な地域林業の振興が求められます。				施策の内容	適正な森林施業の推進と森林病虫害の防除に取組み、優良材の生産による木材利用の促進と水源の涵養などの多面的機能の維持発揮に努めます。 あわせて、交流・教育・健康に着目した新たな森林活用に向けた検討を進めます。								

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準 値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実 績/R6目標)
森林整備面積(造林、下刈、除伐、間伐)	ha	150.9	147.0	147.0	147.0	147.0	147.0	0.76	166.0	0.67
			82.0	122.0	71.0	111.0		0.76		
森林病虫害防除本数(松くい虫、ナラ枯れ)	本	5,381	1,720.0	310.0	1,010.0	1,020.0	1,500.0	1.67	3,950	0.43
			3,491.0	632.0	1,087.0	1,702.0		1.13		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準 値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実 績/R6目標)
								#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦	構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
		70,482	57,172	59,496	85,787	97,070	89,938

取組の総括

⑧	1年間の主な取組と成果	「略」
⑨	施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	◎ 【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩	今後の取組	「略」

構成事務事業の評価結果

事務事業	10	事業	
●成果	A	8事業	(80.0%)
	B	事業	(0.0%)
	C	2事業	(20.0%)
未実施			事業 (0.0%)
平均点			
1.6			
●コスト	A	9事業	(90.0%)
	B	事業	(0.0%)
	C	1事業	(10.0%)
未実施			事業 (0.0%)
平均点			
1.8			
●進捗率	A	7事業	(70.0%)
	B	2事業	(20.0%)
	C	1事業	(10.0%)
未実施			事業 (0.0%)
平均点			
1.6			
平均点			
1.7			

※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

⑪	次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 適正な森林施業を推進し、木材の生産や水源の涵養などの多面的機能の維持発揮に努める。あわせて、令和5年3月に策定した丸森町林業振興ビジョンに基づき、活力ある林業の再生に向けた取組を推進する。また、令和3年度より実施している森林経営管理事業についても計画的に実施し、経営管理の行われていない森林の適切な管理に努めていく。
	委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

施策評価表

令和4年度分

①	施策コード	6・1・8								
②	施策名	内水面漁業の振興		評価担当課	農林課			総合戦略	行政経営	過疎
								-	-	-
③	目 標	農林業の振興（基盤整備や経営指導など）に満足している町民の割合								
④	現状と課題	◆ 本町の農業は、稲作と畜産が生産額の大半を占めていますが、近年では新たな柱の一つとして園芸作物（プロッコリーや小菊など）の振興にも力を入れています。また、本町は平坦地から中山間地域までを有していることから、地域の特性を活かした農業の展開が求められています。 ◆ 農業を取り巻く情勢は厳しさを増していますが、本町においても例外ではなく、農家数減少、農業従事者の高齢化、後継者不足、耕作放棄地の増加など問題は深刻化しています。本町においては、農業生産基盤の整備や生産技術の向上、将来的な農業の担い手対策など、これらの課題に対応するための取り組みを行っています。 ◆ 畜産についても、農家数は減少しておりますが、酪農は、中核的農家の規模拡大が進んでいる一方で、繁殖和牛は小規模農家が多く、飼養頭数は減少傾向になっていきます。 ◆ 食の安全・安心志向への高まりの中、引き続き環境保全型農業を進めていくとともに、消費者との交流を深めながら、顔の見える農業や地産地消に取り組んでい必要があります。また、高齢者や女性グループを中心に農産物の加工や直売所などでの販売も広がりを見せており、本町ならではの特産品開発や6次産業化に期待が寄せられています。 ◆ 森林は、本町の行政区域面積の7割を占め、木材生産のほか水源涵養等の多面的機能を有しており重要な役割を担っています。そのため、町の森林整備計画に基づき、貴重な財産である自然環境の保全や水資源の涵養などのため森林の整備に努めるほか、都市住民との交流の場、環境学習の場として活用していくなど、総合的な地域林業の振興が求められます。				施策の内容	北部を雄大に流れる阿武隈川、中山間部から流れる内川・雉子尾川等の清流がおりなす優れた自然の景観とサケ・アユ等の増殖・放流による豊かな水産資源を維持し、活力ある内水面漁業の振興を図ります。			
⑤										

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準 値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実 績/R6目標)
サケの採卵数	粒	80万	100	100	100	100	100	0.41	100	0.41
		単位:万	0	2	0	41		0.41		
サケ・アユの稚魚放流数	尾	15万	20	20	20	20	20	0.95	20	0.95
		単位:万	45	8	14	19		0.95		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準 値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実 績/R6目標)
								#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		#DIV/0!

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦ 構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
	300	300	300	300	300	300

取組の総括

⑧	1年間の主な取組と成果	「略」	
⑨	施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	◎	【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩	今後の取組	「略」	

構成事務事業の評価結果

事務事業		1	事業	
●成果	A	事業	(0.0%)	平均点
	B	1事業	(100.0%)	
	C	事業	(0.0%)	
	未実施	事業	(0.0%)	1.0
●コスト	A	1事業	(100.0%)	平均点
	B	事業	(0.0%)	
	C	事業	(0.0%)	
	未実施	事業	(0.0%)	2.0
●進捗率	A	事業	(0.0%)	平均点
	B	1事業	(100.0%)	
	C	事業	(0.0%)	
	未実施	事業	(0.0%)	1.0
※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出				1.3

⑪	次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 令和元年東日本台風被害により河川の復旧工事が続いており、計画どおりの放流事業等が実施できていない状況にあるが、災害復旧後の漁業振興を見据え、阿武隈川漁協と連携を図り、水産資源の保全と河川の環境維持に向けた取組を行う。
	委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

施策評価表

令和4年度分

①	施策コード	6・1・9						
②	施策名	6次産業化の推進	評価担当課	農林課		総合戦略	行政経営	過疎
						—	—	○
③	目 標	農林業の振興(基盤整備や経営指導など)に満足している町民の割合						
④	現状と課題	◆ 本町の農業は、稲作と畜産が生産額の大半を占めていますが、近年では新たな柱の一つとして園芸作物(プロッコリーや小菊など)の振興にも力を入れています。また、本町は平坦地から中山間地域までを有していることから、地域の特性を活かした農業の展開が求められています。 ◆ 農業を取り巻く情勢は厳しさを増していますが、本町においても例外ではなく、農家数減少、農業従事者の高齢化、後継者不足、耕作放棄地の増加など問題は深刻化しています。本町においては、農業生産基盤の整備や生産技術の向上、将来的な農業の担い手対策など、これらの課題に対応するための取組みを行っています。 ◆ 畜産についても、農家数は減少しておりますが、酪農は、中核的農家の規模拡大が進んでいる一方で、繁殖和牛は小規模農家が多く、飼養頭数は減少傾向になっています。 ◆ 食の安全・安心志向への高まりの中、引き続き環境保全型農業を進めていくとともに、消費者との交流を深めながら、顔の見える農業や地産地消に取り組んでいく必要があります。また、高齢者や女性グループを中心に農産物の加工や直売所などでの販売も広がりを見せており、本町ならではの特産品開発や6次産業化に期待が寄せられています。 ◆ 森林は、本町の行政区域面積の7割を占め、木材生産のほか水源涵養等の多面的機能を有しており重要な役割を担っています。そのため、町の森林整備計画に基づき、貴重な財産である自然環境の保全や水資源の涵養などのため森林の整備に努めるほか、都市住民との交流の場、環境学習の場として活用していくなど、総合的な地域林業の振興が求められます。				施策の内容	本町の地形を生かして生産される様々な農林産物等を原料とし、生産者自らが加工・販売まで行う6次産業化を推進し、多角的な農業経営により所得向上を図ります。	
⑤								

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
6次産業事業主数	名	24	30	30	32	33	34	1.42	35	1.34
			42	46	47	47		1.38		
								#DIV/0!		#DIV/0!
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
	6次産業事業主数	名	24	30	30	32	33	34	1.42	35
			42	46	47	47		1.38		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦	構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
		1,524	2,179	1,471	1,712	2,867	2,867

取組の総括

⑧	1年間の 主な取組 と成果	「略」		
⑨	施策の進行管理 (構成事務事業の評価結 果をもとにした施策の進 捗状況の判定)	◎	【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要	
⑩	今後の取組	「略」		

構成事務事業の評価結果

事務事業数 3			事業	
●成果	A	3事業	(100.0%)	平均点 2.0
	B	事業	(0.0%)	
	C	事業	(0.0%)	
	未実施	事業	(0.0%)	
●コスト	A	3事業	(100.0%)	平均点 2.0
	B	事業	(0.0%)	
	C	事業	(0.0%)	
	未実施	事業	(0.0%)	
●進捗率	A	3事業	(100.0%)	平均点 2.0
	B	事業	(0.0%)	
	C	事業	(0.0%)	
	未実施	事業	(0.0%)	平均点 2.0

※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

⑪	次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 丸森町農業振興ビジョン個別施策6次産業化の推進に基づき、①原材料の安定供給を行うための農産物等の生産拡大②各種研修会等の開催を通じ取組者の拡大や商品開発力の強化③農産物等の保存や安定的な加工が可能となるよう加工施設整備の推進等事業を展開し農業所得向上を目指していく。
	委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課評価のとおりに。

施 策 評 価 表

令和4年度分

①	施策コード	6・2・1								
②	施策名	地域に活力をもたらす企業誘致の推進	評価担当課	商工観光課				総合戦略	行政経営	過疎
								○	－	○
③	目 標	地元中小企業の振興に満足している町民の割合			施策の内容	新たな進出企業のニーズに対応できる工場団地の造成など、受け入れ体制を充実させるとともに、異業種間や地域との交流機会を創出して企業の活性化を図ります。				
④	現状と課題	◆ 国道113号沿いの市街地においては小売店舗やコンビニエンスストアの進出がありますが、消費者ニーズの多様化により町内における購買率は年々減少傾向にあります。個人商店では、経営者の高齢化や後継者不足により店の存続が難しく、空き店舗が多くなっています。 ◆ 町中心部の商店街では、町内の若手商業者等が空き店舗を活用して新たなお店をオープンさせるなど、商店街活性化の動きが見られます。 ◆ 日常の買い物の利便性を確保するためには、町、商工会、事業所や、地域住民が一丸となって中心市街地の活性化を行う必要があります。 ◆ 日本の景気は緩やかな回復傾向にあります。が、依然として地域間格差が生じています。本町における企業の多くは中小企業であり、地域経済の活性化や安定した雇用の場の確保に向けて、経営の安定化や事業拡大、起業者の育成など支援を行う必要があります。 ◆ 本町では製造業を中心とする企業誘致を図り、地元の雇用創出に努めてきました。今後は、地域の特性にあった企業誘致を進めていくことが求められます。								

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
新工場操業数(27年度からの累計)	工場	2	5	5	6	6	6	0.83	10	0.50
			4	5	5		0.83			
製造品出荷額	億円	465	470	470	470	470	470	0.60	475	0.60
			299	241	284	284		0.60		
従業者数(従業者4人以上の事業所を対象)	人	1,308	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	0.79	1,500	0.79
			1,221	1,199	1,178	1,178		0.79		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
新工場操業数(27年度からの累計)	工場	2	5	5	6	6	6	0.83	10	0.50
			4	5	5		0.83			
製造品出荷額	億円	465	470	470	470	470	470	0.60	475	0.60
			299	241	284	284		0.60		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦	構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
		1,615	11,083	3,574	91,006	97,528	12,228

取組の総括

⑧	1年間の主な取組と成果	「略」	
⑨	施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	○	【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩	今後の取組	「略」	

構成事務事業の評価結果

事務事業別	4	事業		
●成果	A	1事業	(25.0%)	平均点 1.3
	B	3事業	(75.0%)	
	C	事業	(0.0%)	
	未実施	事業	(0.0%)	
●コスト	A	1事業	(25.0%)	平均点 1.3
	B	3事業	(75.0%)	
	C	事業	(0.0%)	
	未実施	事業	(0.0%)	
●進捗率	A	1事業	(25.0%)	平均点 1.3
	B	3事業	(75.0%)	
	C	事業	(0.0%)	
	未実施	事業	(0.0%)	
※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出				1.3

⑪	次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 工場団地の造成工事に着手しており、完成後、速やかに企業が立地できるよう積極的な誘致活動に取り組んで行く。
委員会評価		現状維持	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

施 策 評 価 表

令和4年度分

①	施策コード	6・2・2							
②	施策名	地域の賑わいを創出する商業の活性化	評価担当課		商工観光課		総合戦略	行政経営	過疎
						○	－	○	
③	目 標	地元中小企業の振興に満足している町民の割合			施策の内容	町内の空き店舗の活用や商店街での買い物等の利便性を向上させ、良好で持続的な商業地域の振興を図ります。また、地域の特性を活かした魅力的な商業環境の整備に努めます。			
④ ⑤	現状と課題	◆ 国道113号沿いの市街地においては小売店舗やコンビニエンスストアの進出がありますが、消費者ニーズの多様化により町内における購買率は年々減少傾向にあります。個人商店では、経営者の高齢化や後継者不足により店の存続が難しく、空き店舗が多くなっています。 ◆ 町中心部の商店街では、町内の若手商業者等が空き店舗を活用して新たなお店をオープンさせるなど、商店街活性化の動きが見られます。 ◆ 日常の買い物の利便性を確保するためには、町、商工会、事業所や、地域住民が丸となって中心市街地の活性化を行なう必要があります。 ◆ 日本の景気は緩やかな回復傾向にありますが、依然として地域間格差が生じています。本町における企業の多くは中小企業であり、地域経済の活性化や安定した雇用の場の確保に向けて、経営の安定化や事業拡大、起業者の育成など支援を行う必要があります。 ◆ 本町では製造業を中心とする企業誘致を図り、地元の雇用創出に努めてきました。今後は、地域の特性にあった企業誘致を進めていくことが求められます。							

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
中心市街地活性化拠点施設利用者数	人	80,000	90,000	90,000	100,000	110,000	115,000	1.00	120,000	0.92
			114,690	114,750	107,340	110,286		0.96		
								#DIV/0!		
										#DIV/0!
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
中心市街地活性化拠点施設利用者数	人	80,000	90,000	90,000	100,000	110,000	115,000	1.00	120,000	0.92
			114,690	114,750	107,340	110,286		0.96		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦	構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
		2,293	1,072	5,542	6,492	6,287	4,787

取組の総括

⑧	1年間の主な取組と成果	「略」	
⑨	施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	◎	【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩	今後の取組	「略」	

構成事務事業の評価結果

事務事業別	3	事業		
●成果	A	3事業	(100.0%)	平均点 2.0
	B	事業	(0.0%)	
	C	事業	(0.0%)	
	未実施	事業	(0.0%)	
●コスト	A	1事業	(33.3%)	平均点 1.3
	B	2事業	(66.7%)	
	C	事業	(0.0%)	
	未実施	事業	(0.0%)	
●進捗率	A	2事業	(66.7%)	平均点 1.7
	B	1事業	(33.3%)	
	C	事業	(0.0%)	
	未実施	事業	(0.0%)	平均点 1.7

※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

⑪	次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 各事業で着実に成果が表れているので、現状を維持し各事業を継続して支援していく。
委員会評価		現状維持	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

施 策 評 価 表

令和4年度分

①	施策コード	6・2・3								
②	施策名	地域企業を支える支援体制の充実	評価担当課	商工観光課		総合戦略	行政経営	過疎		
③	目 標	農林業の振興(基盤整備や経営指導など)に満足している町民の割合								
④	現状と課題	◆ 国道113号沿いの市街地においては小売店舗やコンビニエンスストアの進出がありますが、消費者ニーズの多様化により町内における購買率は年々減少傾向にあります。個人商店では、経営者の高齢化や後継者不足により店の存続が難しく、空き店舗が多くなっています。 ◆ 町中心部の商店街では、町内の若手商業者等が空き店舗を活用して新たなお店をオープンさせるなど、商店街活性化の動きが見られます。 ◆ 日常の買い物の利便性を確保するためには、町、商工会、事業所や、地域住民が丸となって中心市街地の活性化を行う必要があります。 ◆ 日本の景気は緩やかな回復傾向にありますが、依然として地域間格差が生じています。本町における企業の多くは中小企業であり、地域経済の活性化や安定した雇用の場の確保に向けて、経営の安定化や事業拡大、起業者の育成など支援を行う必要があります。 ◆ 本町では製造業を中心とする企業誘致を図り、地元の雇用創出に努めてきました。今後は、「東北放射光施設」※の誘致を推進するとともに、地域の特性にあった企業誘致を進めていくことが求められます。								

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
町内商工業者数	事業所	508	513	514	514	514	514	0.88	523	0.86
			464	450	450	450		0.88		
町商工会会員数	人	351	356	356	356	356	356	0.91	361	0.90
			314	318	316	324		0.91		
起業支援者数	人		25	30	30	30	30	0.97	30	0.97
			54	56	39	29		0.97		
起業者数	人		5	6	6	6	6	0.67	6	0.67
			6	4	0	4		0.67		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
町内商工業者数	事業所	508	513	514	514	514	514	1	523	0.86
			464	450	450	450		1		
町商工会会員数	人	351	356	356	356	356	356	1	361	0.90
			314	318	316	324		1		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦	構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
		114,560	277,795	278,705	137,463	123,535	126,287

取組の総括

⑧	1年間の主な取組と成果	「略」
⑨	施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	◎ 【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩	今後の取組	「略」

構成事務事業の評価結果

事務事業別	8	事業	
●成果	A	6事業	(75.0%)
	B	事業	(0.0%)
	C	2事業	(25.0%)
未実施	事業	(0.0%)	
●コスト	A	事業	(0.0%)
	B	8事業	(100.0%)
	C	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)	
●進捗率	A	6事業	(75.0%)
	B	事業	(0.0%)
	C	2事業	(25.0%)
未実施	事業	(0.0%)	
※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出			
			1.3

⑪	次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 各事業で着実に成果が表れているので、現状を維持し各事業を継続して支援していく。
	委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

施 策 評 価 表

令和4年度分

①	施策コード	6・2・4								
②	施策名	働きやすい労働環境の形成		評価担当課	商工観光課			総合戦略	行政経営	過疎
								—	—	○
③	目 標	農林業の振興(基盤整備や経営指導など)に満足している町民の割合								
④	現状と課題	◆ 国道113号沿いの市街地においては小売店舗やコンビニエンスストアの進出がありますが、消費者ニーズの多様化により町内における購買率は年々減少傾向にあります。個人商店では、経営者の高齢化や後継者不足により店の存続が難しく、空き店舗が多くなっています。 ◆ 町中心部の商店街では、町内の若手商業者等が空き店舗を活用して新たなお店をオープンさせるなど、商店街活性化の動きが見られます。 ◆ 日常の買い物の利便性を確保するためには、町、商工会、事業所や、地域住民が丸となって中心市街地の活性化を行なう必要があります。 ◆ 日本の景気は緩やかな回復傾向にありますが、依然として地域間格差が生じています。本町における企業の多くは中小企業であり、地域経済の活性化や安定した雇用の場の確保に向けて、経営の安定化や事業拡大、起業者の育成など支援を行う必要があります。 ◆ 本町では製造業を中心とする企業誘致を図り、地元の雇用創出に努めてきました。今後は、「東北放射光施設」※の誘致を推進するとともに、地域の特性にあった企業誘致を								
⑤				施策の内容				ハローワークをはじめとした関係機関との連携により、雇用情報の提供や企業に対する雇用促進を働きかけるとともに、資金融資の円滑化により労働者の生活安定を図ります。		

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
商工会会員事業所永年勤続優良従業員	名	6	5	5	5	5	5	1.00	8	0.63
			4	5	6	5		1.00		
町の人口に占める生産年齢人口の割合	%	53.00	55	55	55	55	55	0.87	55	0.87
			50	49	48	48		0.87		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
									#DIV/0!	
								#DIV/0!		#DIV/0!

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦	構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
		2,403	16,470	60,575	95,103	4,905	4,905

取組の総括

⑧	1年間の主な取組と成果	「略」	
⑨	施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	◎	【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩	今後の取組	「略」	

構成事務事業の評価結果

事務事業別	3	事業	
●成果	A	3事業	(100.0%)
	B	事業	(0.0%)
	C	事業	(0.0%)
	未実施	事業	(0.0%)
平均点			
2.0			
●コスト	A	事業	(0.0%)
	B	3事業	(100.0%)
	C	事業	(0.0%)
	未実施	事業	(0.0%)
平均点			
1.0			
●進捗率	A	3事業	(100.0%)
	B	事業	(0.0%)
	C	事業	(0.0%)
	未実施	事業	(0.0%)
平均点			
2.0			
平均点			
1.7			

※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

⑪	次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 各事業で着実に成果が表れているので、現状を維持し各事業を継続して支援していく。
	委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

施 策 評 価 表

令和4年度分

①	施策コード	7・1・1						
②	施策名	観光交流人口の拡大を支える施設の充実	評価担当課		商工観光課	総合戦略	行政経営	過疎
						○	－	○
③	目 標	観光交流人口（年度）				施策の内容 平成26年度策定の「丸森町交流人口70万人計画」に基づき、「国民宿舍あぶくま荘」や「蔵の郷土館齋理屋敷」、「不動尊公園キャンプ場」等の既存施設の再整備を行うほか、新たに施設を整備することも検討しながら交流人口の回復増加と地域活性化を目指します。		
④	現状と課題	◆ 近年、ライフスタイルや価値観の変化にともなって、観光の形態やニーズが多様化しており、従来の「見る」観光に加え、地域固有の資源を生かした「体験・交流する」観光の需要が高まってきました。 ◆ 本町の主な観光資源は、「蔵の郷土館齋理屋敷」、「不動尊公園キャンプ場」、「阿武隈ライン沿下り」などがあり、自然や歴史に触れることができるものが中心です。このほか町では、「いきいき交流センター大内」、「八幡館」、「手しごと館」、「滞在型市民農園」といった観光・交流の拠点となる施設を整備し、丸森型グリーン・ツーリズムの推進に努めてきました。 ◆ 平成25年から開催されている「サイクルフェスタ丸森」は、県内外からの参加者が集まり丸森の自然と人の交流が楽しめる”と自転車愛好家から注目されているイベントの一つとなっています。 ◆ 今後も、豊かな自然や歴史・文化が育んできた地域資源を生かし、交流人口の拡大と、それに伴う経済的な波及効果へ結びつけることが重要となります。また、観光産業だけではなく、様々な産業の人が関わり地域全体で観光客を受け入れていく仕組みづくりも必要です。						

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
国民宿舍あぶくま荘利用者数(年度)	千人	65	67	69	70	70	70.00	0.46	87	0.37
			51	26	26	32		0.46		
観光交流人口	千人		660	670	400	400	560.00	1.30	700	0.74
			519	368	393	520		0.93		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
国民宿舍あぶくま荘利用者数(年度)	千人	65	67	69	70	70	70	0.46	87	0.37
			51	26	26	32		0.46		
観光交流人口	千人		660	670	400	400	560.00	1.30	700	0.74
			519	368	393	520		0.93		

構成事務事業の事業費合計（単位：千円）

⑦	構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度（計画）	令和6年度（計画）
		62,859	168,359	137,652	96,249	74,225	76,089

取組の総括

⑧	1年間の主な取組と成果	「略」	
⑨	施策の進行管理（構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定）	○	【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩	今後の取組	「略」	

構成事務事業の評価結果

事務事業別	6	事業	
●成果	A	2事業	(33.3%)
	B	3事業	(50.0%)
	C	1事業	(16.7%)
未実施		事業	(0.0%)
平均点			
1.2			
●コスト	A	1事業	(16.7%)
	B	5事業	(83.3%)
	C	事業	(0.0%)
未実施		事業	(0.0%)
平均点			
1.2			
●進捗率	A	2事業	(33.3%)
	B	3事業	(50.0%)
	C	1事業	(16.7%)
未実施		事業	(0.0%)
平均点			
1.2			
※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出			
1.2			

⑪	次年度以降の方針（主担当課）	現状維持	【説明欄】 各事業で着実に成果が表れているので、現状の取組を維持し各事業を継続していくとともに、利用者の安全を第一に計画的に施設の整備を進めていく。
	委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

施 策 評 価 表

令和4年度分

①	施策コード	7・1・2						
②	施策名	観光交流を生み出す仕掛けづくり	評価担当課	商工観光課		総合戦略	行政経営	過疎
						○	-	○
③	目 標	観光交流人口（暦年）						
④	現状と課題	◆ 近年、ライフスタイルや価値観の変化にともなって、観光の形態やニーズが多様化しており、従来の「見る」観光に加え、地域固有の資源を生かした「体験・交流する」観光の需要が高まってきています。 ◆ 本町の主な観光資源は、「蔵の郷土館竊理屋敷」、「不動尊公園キャンプ場」、「阿武隈ライン舟下り」などがあり、自然や歴史に触れることができるものが中心です。このほかに町では、「いきいき交流センター大内」、「八雄館」、「手しごと館」、「滞在型市民農園」といった観光・交流の拠点となる施設を整備し、丸森型グリーン・ツーリズムの推進に努めてきました。 ◆ 平成25年から開催されている「サイクルフェスタ丸森」は、県内外からの参加者が集まり「丸森の自然と人との交流が楽しめる」と自転車愛好家から注目されているイベントの一つとなっています。 ◆ 今後も、豊かな自然や歴史・文化が育んできた地域資源を生かし、交流人口の拡大と、それに伴う経済的な波及効果へ結びつけることが重要となってきます。また、観光産業だけではなく、様々な産業の人が関わり地域全体で観光客を受け入れていく仕組みづくりも必要です。	施策の内容	インターネット等による情報発信の強化や、「竊理幻夜」、「サイクルフェスタ丸森」等のイベントをはじめ、丸森町の自然、歴史・文化等の豊かな地域資源を活かしたグリーン・ツーリズムの推進を図ることで交流人口の回復増加と地域活性化を目指します。				
⑤								

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段: 達成率(R4実績/R4目標) 下段: 達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
各種ツアー参加者数	人	0.00	225	250	400	450	450	0.29	360	0.36
			62	47	353	131		0.29		
								#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段: 達成率(R4実績/R4目標) 下段: 達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
各種ツアー参加者数	人	0.00	225	250	400	450	450	0.29	360	0.36
			62	47	353	131		0.29		

構成事務事業の事業費合計（単位：千円）

⑦	構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度（計画）	令和6年度（計画）
		30,884	40,659	36,465	39,941	39,569	33,969

取組の総括

⑧	1年間の主な取組と成果	「略」
⑨	施策の進行管理（構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定）	◎ 【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩	今後の取組	「略」

構成事務事業の評価結果

事務事業別	7	事業	
●成果	A	5事業	(71.4%)
	B	1事業	(14.3%)
	C	1事業	(14.3%)
未実施		事業	(0.0%)
●コスト	A	3事業	(42.9%)
	B	4事業	(57.1%)
	C	事業	(0.0%)
未実施		事業	(0.0%)
●進捗率	A	5事業	(71.4%)
	B	1事業	(14.3%)
	C	1事業	(14.3%)
未実施		事業	(0.0%)
※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出			
			1.5

⑪	次年度以降の方針（主担当課）	見直しのうえ継続	【説明欄】 各事業で着実に成果が表れているので、現状の取組を維持し各事業を継続していくとともに、より効果的な事業を目指し、事業の見直しに取り組んでいく。
	委員会評価	見直しのうえ継続	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

施 策 評 価 表

令和4年度分

⑦	施策コード	7・2・1									
②	施策名	広域的で多様な交流を生み出すしくみづくり	評価担当課		企画財政課				総合戦略	行政経営	過疎
								○		－	○
③	目 標	行事やイベント等の交流の場の充実に満足している町民の割合				施策の内容	姉妹都市交流事業や丸森ファンネットワーク事業を通じて広域的で多様な交流により、地域づくりや人づくりを行い、交流による新たな視点を取り入れたまちづくりなどを推進していきます。				
		交流活動を通じての元気な地域づくりに満足している町民の割合									
④	現状と課題	◆ 毎年、姉妹都市である北海道北見市及びアメリカ合衆国ヘメット市と「教育・文化・スポーツ」等の交流を行い、国内外を問わず相互の友好を深めています。 ◆ 丸森ファンネットワーク事業は、会員（町外者）の方に対して定期的な会報による情報発信や特産品の提供を行っており、会員の方からは本町のまちづくりへの意見・提言をもらうという新たな視点での友好を深める交流施策を行っております。									
⑤											

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
丸森町姉妹都市交流事業参加者数	人	42	110	100	100	100	100	0.79	100	0.79
			41	0	0	79		0.79		
								#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
丸森町姉妹都市交流事業参加者数	人	42	110	100	100	100	100	0.79	100	0.79
			41	0	0	79		0.79		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦	構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
		72,906	21,407	16,441	3,313	2,312	8,300

取組の総括

⑧	1年間の主な取組と成果	「略」	
⑨	施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	△	【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩	今後の取組	「略」	

構成事務事業の評価結果

事務事業別		2	事業	平均点
●成果	A	事業	(0.0%)	
	B	1事業	(50.0%)	
	C	1事業	(50.0%)	
	未実施	事業	(0.0%)	0.5
●コスト	A	事業	(0.0%)	平均点
	B	1事業	(50.0%)	
	C	1事業	(50.0%)	
	未実施	事業	(0.0%)	
				0.5
●進捗率	A	事業	(0.0%)	平均点
	B	1事業	(50.0%)	
	C	1事業	(50.0%)	
	未実施	事業	(0.0%)	
				0.5
※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出				

⑪	次年度以降の方針 (主担当課)	見直しの うえ継続	【説明欄】 丸森町姉妹都市交流協会のあり方を検討しながら、住民同士の交流が継続できるよう、継続して事業を実施していきます。 宮城県南4市9町のインバウンド観光振興のための組織において、インバウンド観光振興による雇用の創出や基幹産業である第1次産業と連携した形を検討しながら、地域経済の活性化を図っていきます。
委員会評価		見直しの うえ継続	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

施 策 評 価 表

令和4年度分

①	施策コード	8・1・1							
②	施策名	定住につながる魅力的な住環境の整備	評価担当課	子育て定住推進課		総合戦略	行政経営	過疎	
							○	－	○
③	目 標	若者定住対策による活気あるまちづくりに満足している町民の割合		施策の内容 新婚・子育て世代に対して、若者定住促進住宅や定住促進団地の提供、新築やリフォーム住宅取得、賃貸住宅家賃支援を行うとともに、民間業者へのアパート経営事業や宅地開発事業への支援による若者定住施策を推進します。 また、移住を希望する方に対して、地域が主体となった受入体制を促進することで幅広い世代の定住促進を図ります。 地域の資源を活かした魅力的な住環境の整備と宅地造成事業による定住施策を推進します。					
		丸森町は住みよいまちと感じている町民の割合							
④ ⑤	現状と課題	◆ 本町の急速な少子高齢化の要因の一つとして、若年層が安定的な雇用や快適な住居を求めて都市へ流出していることがあげられます。これまでも新婚・子育て世代など若者の町内定住を促進するため、定住施策の充実に努めてきましたが、更なるニーズに応じた「若者定住対策」を推進する必要があります。 ◆ 多くの人が「住んでみたい」「住み続けたい」と思える、快適で魅力的な住環境の整備が求められています。 ◆ 町営住宅を284戸（平成26年12月現在）運営管理していますが、老朽化の進んだ住宅については、修繕や建替えによる計画的な維持管理が必要となります。							

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値（上段）・実績値（下段）						計画目標値（R6年度）	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段：達成率（R4実績／R4目標） 下段：達成率（R4実績／R5目標）	R6年度	達成率（R4実績／R6目標）
新たに定住した人数	人	21	20	20	20	25	25	1	30	1.00
			39	26	30	30		1		
移住相談件数	件		60	60	60	60	60	1	10	5.70
			38	45	54	57		1		
移住相談実施回数	回／年		4	4	4	4	4	1	4	1.25
			1	1	1	5		1		
希望者に提供できる空き家の数	戸		20	20	20	20	20	2	20	2.30
			28	31	30	46		2		
定住促進住宅整備戸数	戸	44	60	66	66	66	66	1	68	0.97
			66	66	66	66		1		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値（上段）・実績値（下段）						計画目標値（R6年度）	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段：達成率（R4実績／R4目標） 下段：達成率（R4実績／R5目標）	R6年度	達成率（R4実績／R6目標）
新たに定住した人数	人	21	20	20	20	25	25	1	30	1.00
			39	26	30	30		1		
定住促進住宅整備戸数	戸	44	60	66	66	66	66	1	68	0.97
			66	66	66	66		1		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦	構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
		39,259	130,132	61,561	46,337	69,307	68,621

取組の総括

⑧	1年間の 主な取組 と成果	「略」		
⑨	施策の進行管理 (構成事務事業の評価 結果をもとにした施策の 進捗状況の判定)	◎	【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要	
⑩	今後の取組	「略」		

構成事務事業の評価結果

事務事業別	11	事業		
●成果	A	5事業	(45.5%)	平均点 1.3
	B	4事業	(36.4%)	
	C	2事業	(18.2%)	
	未実施	事業	(0.0%)	
●コスト	A	10事業	(90.9%)	平均点 1.9
	B	1事業	(9.1%)	
	C	事業	(0.0%)	
	未実施	事業	(0.0%)	
●進捗率	A	8事業	(72.7%)	平均点 1.5
	B	1事業	(9.1%)	
	C	2事業	(18.2%)	
	未実施	事業	(0.0%)	平均点 1.6
※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出				

⑪	次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 移住・定住サポートセンターに移住コーディネーターを配置して、より一層移住相談等に丁寧に対応するとともに、広報活動に取り組み移住・定住の促進を図る。
	委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】
			担当課評価のとおり。

施 策 評 価 表

令和4年度分

①	施策コード	8・1・2						
②	施策名	良好な住環境の形成	評価担当課		建設課	総合戦略	行政経営	過疎
						○	－	○
③	目 標	若者定住対策による活気あるまちづくりに満足している町民の割合			施策の内容	新婚・子育て世代に対して、若者定住促進住宅や定住促進団地の提供、新築やリフォーム住宅取得、賃貸住宅家賃支援を行うとともに、民間業者へのアパート経営事業や宅地開発事業への支援による若者定住施策を推進します。 また、移住を希望する方に対して、地域が主体となった受入体制を促進することで幅広い世代の定住促進を図ります。 地域の資源を活かした魅力的な住環境の整備と宅地造成事業による定住施策を推進します。		
		丸森町は住みよいまちと感じている町民の割合						
④ ⑤	現状と課題	◆ 本町の急速な少子高齢化の要因の一つとして、若年層が安定的な雇用や快適な住居を求めて都市へ流出していることがあげられます。これまでも新婚・子育て世代など若者の町内定住を促進するため、定住施策の充実に努めてきましたが、更なるニーズに応じた「若者定住対策」を推進する必要があります。 ◆ 多くの人が「住んでみたい」「住み続けたい」と思える、快適で魅力的な住環境の整備が求められています。 ◆ 町営住宅を284戸（平成26年12月現在）運営管理していますが、老朽化の進んだ住宅については、修繕や建替えによる計画的な維持管理が必要となります。						

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段: 達成率(R4実績/R4目標) 下段: 達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
快適に暮らせる町営住宅(定住含む)	戸	106.00	272	123	203	239	287	1	305	0.69
			102	123	115	209		1		
								#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段: 達成率(R4実績/R4目標) 下段: 達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
快適に暮らせる町営住宅(定住含む)	戸	106.00	272	123	203	239	287	1	305	0.69
			102	123	115	209		1		

構成事務事業の事業費合計（単位：千円）

⑦	構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度（計画）	令和6年度（計画）
		24,476	263,901	17,005	285,529	1,547,741	46,751

取組の総括

⑧	1年間の主な取組と成果	「略」	
⑨	施策の進行管理（構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定）	◎	【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩	今後の取組	「略」	

構成事務事業の評価結果

事務事業別	10	事業	平均点
●成果	A	6事業（60.0%）	
	B	2事業（20.0%）	
	C	2事業（20.0%）	
未実施		事業（0.0%）	1.4
●コスト	A	8事業（80.0%）	平均点
	B	2事業（20.0%）	
	C	事業（0.0%）	
未実施		事業（0.0%）	1.8
●進捗率	A	7事業（70.0%）	平均点
	B	1事業（10.0%）	
	C	2事業（20.0%）	
未実施		事業（0.0%）	1.5
※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出			1.6

⑪	次年度以降の方針（主担当課）	見直しのうえ継続	【説明欄】 令和元年東日本台風災害による被災者を対象とした災害公営住宅の整備及び被災した町営住宅の再建を令和2年6月に策定した整備方針に基づき迅速かつ計画的に進めるとともに、将来にわたり安心して住める住宅の提供するため、町営住宅等長寿命化計画を作成により、計画的な維持管理を行う。
委員会評価		見直しのうえ継続	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

施策評価表

令和4年度分

①	施策コード	8・2・1							
②	施策名	阿武隈急行線の利用促進及び支援	評価担当課		企画財政課				
							総合戦略	行政経営	過疎
							○	－	○
③	目 標	公共交通の利便性に満足している町民の割合							
④	現状と課題	◆ 鉄道は、福島～槻木を結ぶ阿武隈急行線が南北に通り、最寄り駅としてあぶくま駅、丸森駅、北丸森駅の3駅があります。通勤・通学の利用だけではなく、本町への観光客の交通手段としての役割を担っていますが、乗降客数は減少傾向にあります。町では、通勤・通学者を対象とした通勤定期券・運賃の助成や、観光客向けのお買物券サービスなど、阿武隈急行線の利用促進に向けた様々な事業を展開しています。 ◆ 町民の身近な交通機関である町民バス、予約型乗合タクシー「あし丸くん」を運行しています。特に、「あし丸くん」は、自宅から町中心部のまちなか拠点施設まで運行しており、町民が利用しやすい交通手段となっています。 ◆ 急速な高齢化によって、誰もが安心して利用できる移動手段として、その役割がますます期待されることから、町民・行政・交通事業者が連携をとりながら、ニーズに合った公共交通環境の整備が求められています。			施策の内容		本町にとって欠かせない公共交通機関である阿武隈急行線については、適切な駅施設の維持管理を行い、利用しやすい環境を整えるとともに、安全な運行に必要な車両等の修繕や設備導入などを支援します。また、阿武隈急行線に係る各種イベントの開催や情報誌の発行などにより利用促進を図ります。		
⑤									

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準 値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実 績/R6目標)
阿武隈急行線利用者数	千人	187	210	179	179	179	179	0.76	179	0.76
			125	90	134	136		0.76		
							#DIV/0!		#DIV/0!	
							#DIV/0!			
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準 値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実 績/R6目標)
阿武隈急行線利用者数	千人	187	210	179	179	179	179	0.76	179	0.76
			125	90	134	136		0.76		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦	構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
		22,226	63,193	63,414	133,966	80,452	34,140

取組の総括

⑧	1年間の主な取組と成果	「略」	
⑨	施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	○	【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩	今後の取組	「略」	

構成事務事業の評価結果

事務事業別	3	事業		
●成果	A	1事業	(33.3%)	平均点
	B	1事業	(33.3%)	
	C	1事業	(33.3%)	
	未実施	事業	(0.0%)	1.0
●コスト	A	1事業	(33.3%)	平均点
	B	1事業	(33.3%)	
	C	1事業	(33.3%)	
	未実施	事業	(0.0%)	1.0
●進捗率	A	2事業	(66.7%)	平均点
	B	1事業	(33.3%)	
	C	事業	(0.0%)	
	未実施	事業	(0.0%)	1.7
※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出				1.2

⑪	次年度以降の方針 (主担当課)	見直しの うえ継続	【説明欄】 本町にとって欠かせない公共交通機関である「阿武隈急行線」については、適切な駅施設の維持管理を行い、利用しやすい環境を整えるとともに、安全な運行に必要な車両及び設備の導入や修繕などを支援します。また、「阿武隈急行線」に関する各種イベントの開催や情報誌の発行などにより利用促進を図ります。
委員会評価		見直しの うえ継続	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

施 策 評 価 表

令和4年度分

①	施策コード	8・2・2									
	② 施策名	身近な公共交通手段の確保		評価担当課		企画財政課			総合戦略	行政経営	過疎
									○	－	○
	③ 目 標	公共交通の利便性に満足している町民の割合					施策の内容	町民の身近な交通手段である町民バスの運行や予約型乗合タクシー「あし丸くん」への運行支援等を行い、町民の身近な公共交通を確保し安心・安全で快適な暮らしを支えます。			
④ 現状と課題	◆ 鉄道は、福島～槻木を結ぶ阿武隈急行線が南北に通り、最寄り駅としてあぶくま駅、丸森駅、北丸森駅の3駅があります。通勤・通学の利用だけではなく、本町への観光客の交通手段としての役割を担っていますが、乗降客数は減少傾向にあります。町では、通勤・通学者を対象とした通勤定期券・運賃の助成や、観光客向けのお買物券サービスなど、阿武隈急行線の利用促進に向けた様々な事業を展開しています。 ◆ 町民の身近な交通機関である町民バス、予約型乗合タクシー「あし丸くん」を運行しています。特に、「あし丸くん」は、自宅から町中心部のまちなか拠点施設まで運行しており、町民が利用しやすい交通手段となっています。 ◆ 急速な高齢化によって、誰もが安心して利用できる移動手段として、その役割がますます期待されることから、町民・行政・交通事業者が連携をとりながら、ニーズに合った公共交通環境の整備が求められています。										
⑤											

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
バス等公共交通利用者数(阿武隈急行線除く)	人	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	0.53	70,000	0.53
			49,994	41,539	40,035	37,184		0.53		
								#DIV/0!		#DIV/0!
							#DIV/0!		#DIV/0!	
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
バス等公共交通利用者数(阿武隈急行線除く)	人	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	0.53	70,000	0.53
			49,994	41,539	40,035	37,184		0.53		
								#DIV/0!		#DIV/0!
							#DIV/0!		#DIV/0!	

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦	構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
		58,996	61,707	63,790	77,272	80,616	77,100

取組の総括

⑧	1年間の主な取組と成果	「略」	
⑨	施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	△	【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩	今後の取組	「略」	

構成事務事業の評価結果

事務事業別	3	事業	
●成果 A	1事業	(33.3%)	平均点 1.0
	B 1事業	(33.3%)	
	C 1事業	(33.3%)	
未実施	事業	(0.0%)	
●コスト A	事業	(0.0%)	平均点 0.7
	B 2事業	(66.7%)	
	C 1事業	(33.3%)	
未実施	事業	(0.0%)	
●進捗率 A	1事業	(33.3%)	平均点 0.7
	B 事業	(0.0%)	
	C 2事業	(66.7%)	
未実施	事業	(0.0%)	平均点 0.8

※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

⑪	次年度以降の方針 (主担当課)	見直しの うえ継続	【説明欄】 現在の公共交通体系は維持を基本に進める一方で、阿武隈急行線を含めた、総合交通体系の見直しを視野に、利用状況の調査を進める。一方で、行政主導による公共交通網整備は、人口減少に反比例する事業費増大が近い将来大きな課題になることが予想されるため、地域主体による地域内の移動手段の確保について引き続き検討を進めていく。
	委員会評価	見直しの うえ継続	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

施 策 評 価 表

令和4年度分

①	施策コード	8・3・1						
②	施策名	広域交通体系の整備	評価担当課		建設課	総合戦略	行政経営	過疎
						○	-	-
③	目 標	幹線道路(国・県道)の整備に満足している町民の割合				施策の内容 隣接市町とともに町内の各地域を結ぶ、国道113号、349号及び主要地方道丸森霊山線等の広域的な交通体系の骨格を形成するアクセス道路については、整備促進や全面改良に向けた要望活動を進めます。		
		生活道路(身近な道路)の整備に満足している町民の割合						
④	現状と課題	◆ 広域幹線道路としては、相馬市～角田市～白石市を連絡する国道113号、角田市～福島県伊達市を連絡する国道349号が通っています。これらの路線と主要地方道3路線、一般県道7路線が接続し、幹線道路網が形成されています。 ◆ 生活道路については、これまで計画的に整備を進めてきましたが、多くの路線において、幅員が狭く、全体的に損傷が進んでいることから、計画的な改良・補修を行い、安全で快適な道路環境を整備が求められています。						
⑤								

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)		
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)	
要望路線着工率	%	20.00	80	80	100	100	100	1.00	100	1.00	
			80	80	100	100		1.00			
								#DIV/0!		#DIV/0!	
								#DIV/0!			
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI		単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
				R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
要望路線着工率	%	20.00	80	80	100	100	100	1.00	100	1.00	
			80	80	100	100		1.00			

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦	構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
		151	90	1,136	92	140	154

取組の総括

⑧	1年間の主な取組と成果	「略」	
⑨	施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	◎	【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩	今後の取組	「略」	

構成事務事業の評価結果

事務事業型		4	事業	
●成果	A	2事業	(50.0%)	平均点
	B	事業	(0.0%)	
	C	2事業	(50.0%)	
未実施		事業	(0.0%)	1.0
●コスト	A	3事業	(75.0%)	平均点
	B	1事業	(25.0%)	
	C	事業	(0.0%)	
未実施		事業	(0.0%)	1.8
●進捗率	A	2事業	(50.0%)	平均点
	B	1事業	(25.0%)	
	C	1事業	(25.0%)	
未実施		事業	(0.0%)	平均点
※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出				
1.3				

⑪	次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 引続き、近隣市町と連携し積極的な要望活動を実施していく。
	委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

施 策 評 価 表

令和4年度分

①	施策コード	8・3・2						
②	施策名	主要道路の整備	評価担当課		建設課	総合戦略	行政経営	過疎
						○	-	○
③	目 標	幹線道路(国・県道)の整備に満足している町民の割合				施策の内容	町民の日常生活、物流等の経済活動を支える主要道路については、快適で利便性の高い道路環境の整備を進めます。また、子どもから高齢者の誰もが安心・安全に通行できる道路環境を提供します。	
		生活道路(身近な道路)の整備に満足している町民の割合						
④ ⑤	現状と課題	◆ 広域幹線道路としては、相馬市～角田市～白石市を連絡する国道113号、角田市～福島県伊達市を連絡する国道349号が通っています。これらの路線と主要地方道3路線、一般県道7路線が接続し、幹線道路網が形成されています。 ◆ 生活道路については、これまで計画的に整備を進めてきましたが、多くの路線において、幅員が狭く、全体的に損傷が進んでいることから、計画的な改良・補修を行い、安全で快適な道路環境を整備が求められています。						

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準 値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実 績/R6目標)
事業進捗率	%	0.0	50.00	50.00	50.00	60.00	60.00	0.80	100	0.48
			39.60	39.60	48.00	48.00		0.80		
道路改良率	%	67.9	69.00	69.44	69.44	69.44	69.44	1.00	70	0.99
			69.30	69.30	69.30	69.30		1.00		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI			単位	基準 値	目標値(上段)・実績値(下段)				計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実 績/R6目標)
事業進捗率	%	0.0	50.00	50.00	50.00	60.00	60.00	0.80	100	0.48
			39.60	39.60	48.00	48.00		0.80		
道路改良率	%	67.9	69.00	69.44	69.44	69.44	69.44	1.00	70	0.99
			69.30	69.30	69.30	69.30		1.00		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦	構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
		30,972	712	37,148	64,454	859,788	729,500

取組の総括

⑧	1年間の主な取組と成果	「略」	
⑨	施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	△	【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩	今後の取組	「略」	

構成事務事業の評価結果

事務事業数		48	事業	
●成果	A	3事業	(6.3%)	平均点
	B	事業	(0.0%)	
	C	1事業	(2.1%)	
未実施		26事業	(54.2%)	0.2
●コスト	A	4事業	(8.3%)	平均点
	B	事業	(0.0%)	
	C	事業	(0.0%)	
未実施		26事業	(54.2%)	0.3
●進捗率	A	3事業	(6.3%)	平均点
	B	事業	(0.0%)	
	C	1事業	(2.1%)	
未実施		26事業	(54.2%)	0.2
※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出				0.2

⑪	次年度以降の方針 (主担当課)	拡 大	【説明欄】 生活道路の整備については、災害復旧事業を優先に進めているが、復興復旧の進捗に伴い、令和5年度以降については、社総交・道整備交付金等の補助金事業を活用し、復旧復興を下支えする、快適で利便性の高い道路環境の整備を進めたい。
	委員会評価	拡 大	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

施 策 評 価 表

令和4年度分

①	施策コード	8・3・3								
②	施策名	人にやさしい道路管理		評価担当課	建設課			総合戦略	行政経営	過疎
③	目 標	幹線道路(国・県道)の整備に満足している町民の割合						－	－	○
④	現状と課題	生活道路(身近な道路)の整備に満足している町民の割合								
⑤		◆ 広域幹線道路としては、相馬市～角田市～白石市を連絡する国道113号、角田市～福島県伊達市を連絡する国道349号が通っています。これらの路線と主要地方道3路線、一般県道7路線が接続し、幹線道路網が形成されています。 ◆ 生活道路については、これまで計画的に整備を進めてきましたが、多くの路線において、幅員が狭く、全体的に損傷が進んでいることから、計画的な改良・補修を行い、安全で快適な道路環境を整備が求められています。		施策の内容	道路交通の安全性・円滑性・快適性等を確保し、防災、ライフライン等の機能向上を図るため、町民と行政が協働により、歩行者と自動車が安全に通行できる道路の維持管理に努めます。					

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
橋梁長寿命化計画策定	%	19.30	100	100	100	100	100	1.00	100	1.00
			100	100	100	100		1.00		
								#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
								#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦	構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
		134,404	79,992	94,068	109,193	81,792	120,671

取組の総括

⑧	1年間の主な取組と成果	「略」	
⑨	施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	○	【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩	今後の取組	「略」	

構成事務事業の評価結果

事務事業数		9	事業	
●成果	A	6事業	(66.7%)	平均点
	B	1事業	(11.1%)	
	C	1事業	(11.1%)	
	未実施	1事業	(11.1%)	1.4
●コスト	A	2事業	(22.2%)	平均点
	B	6事業	(66.7%)	
	C	事業	(0.0%)	
	未実施	1事業	(11.1%)	1.1
●進捗率	A	1事業	(11.1%)	平均点
	B	6事業	(66.7%)	
	C	1事業	(11.1%)	
	未実施	1事業	(11.1%)	0.9
※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出				1.1

⑪	次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 道路維持管理補修等については、道路パトロールや地域からの要望や情報により把握し、緊急性を踏まえ側溝、舗装等の補修や除草・除雪を実施する。 橋梁長寿命化については、修繕計画により計画的に長寿命化対策を実施する。
	委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

施 策 評 価 表

令和4年度分

⑦	施策コード	8・4・1							
②	施策名	安心・安全なおいしい水供給の推進	評価担当課		建設課	総合戦略	行政経営	過疎	
						○	-	○	
③	目 標	上水道などの飲料水の確保に満足している町民の割合				施策の内容			
		下水道の整備と汚水や雨水の処理に満足している町民の割合							
④ ⑤	現状と課題	◆ 本町は、集落が広範囲に散在しており、多様な地理的条件を有していることから、水道普及率が低迷しています。今後は水道水源の確保はもとより、地域それぞれの特性を生かした効率的な整備が必要です。 ◆ 公共下水道は、計画区域面積の89.4%(平成26年3月末日現在)まで整備が進んでおり、宅地への公共樹設置は完了しています。今後は、水洗化の普及に努めるとともに、下水道等処理区域外の地区については、合併浄化槽の普及に努める必要があります。 ◆ 安全で安定的な水供給・処理を維持していくため、公共下水道及び農業集落排水施設の老朽化への対応や耐震性の向上など長期的な視点に立った維持管理が重要な課題となっています。							

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
行政区域内水道普及率	%	65.40	67.7	70.0	76.8	76.9	77.2	1.01	77.5	1.00
			72.7	72.1	77.8	77.5		1.00		
								#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
行政区域内水道普及率	%	65.40	67.7	70.0	76.8	76.9	77.2	1.01	77.5	1.00
			72.7	72.1	77.8	77.5		1.00		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦	構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
		257,834	213,754	64,103	54,019	88,600	270,600

取組の総括

⑧	1年間の主な取組と成果	「略」	
⑨	施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	◎	【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩	今後の取組	「略」	

構成事務事業の評価結果

事務事業数		7	事業	平均点
●成果	A	7事業	(100.0%)	
	B	事業	(0.0%)	
	C	事業	(0.0%)	
未実施		事業	(0.0%)	2.0
●コスト	A	6事業	(85.7%)	平均点
	B	1事業	(14.3%)	
	C	事業	(0.0%)	
未実施		事業	(0.0%)	1.9
●進捗率	A	5事業	(71.4%)	平均点
	B	2事業	(28.6%)	
	C	事業	(0.0%)	
未実施		事業	(0.0%)	1.7
※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出				1.9

⑪	次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 一部工事が完了していないため給水できない地区がある。配水ルートを変更し令和5年度内の工事完了を目標とする。 令和4年度から3か年で老朽化した湖ノ上配水池の更新を実施し、安定した水道水の供給を図る。
委員会評価		現状維持	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

施 策 評 価 表

令和4年度分

⑦	施策コード	8・4・2						
②	施策名	環境に配慮した水処理の推進	評価担当課		建設課	総合戦略	行政経営	過疎
						—	—	○
③	目 標	上水道などの飲料水の確保に満足している町民の割合 下水道の整備と汚水や雨水の処理に満足している町民の割合						
④	現状と課題	◆ 本町は、集落が広範囲に散在しており、多様な地理的条件を有していることから、水道普及率が低迷しています。今後は水道水源の確保はもとより、地域それぞれの特性を生かした効率的な整備が必要です。 ◆ 公共下水道は、計画区域面積の89.4%(平成26年3月末日現在)まで整備が進んでおり、宅地への公共下水道設置は完了しています。今後は、水洗化の普及に努めるとともに、下水道等処理区域外の地区については、合併浄化槽の普及に努める必要があります。 ◆ 安全で安定的な水供給・処理を維持していくため、公共下水道及び農業集落排水施設の老朽化への対応や耐震性の向上など長期的な視点に立った維持管理が重要な課題となっています。						
⑤								
			施策の内容		衛生的で快適な暮らしを支え、公共用水域の環境負荷の低減をめざし、下水道・合併浄化槽による水洗化の普及を推進します。また、既存下水道施設等の長寿命化及び耐震対策による適正な維持管理を実施し、公衆衛生・生活環境の向上を図ります。			

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
水洗化普及率	%	69.90	79.5	86.1	86.1	86.1	86.1	0.78	86.1	0.78
			66.0	66.0	65.7	67.3		0.78		
								#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(R6年度)	
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
								#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦	構成事務事業の 事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
		59,531	615,080	301,801	636,578	2,288,500	152,500

取組の総括

⑧	1年間の主な取組と成果	「略」	
⑨	施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	◎	【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩	今後の取組	「略」	

構成事務事業の評価結果

事務事業数		8	事業	平均点
●成果	A	3事業	(37.5%)	
	B	5事業	(62.5%)	
	C	事業	(0.0%)	
	未実施	事業	(0.0%)	1.4
●コスト	A	4事業	(50.0%)	平均点
	B	4事業	(50.0%)	
	C	事業	(0.0%)	
	未実施	事業	(0.0%)	
				1.5
●進捗率	A	2事業	(25.0%)	平均点
	B	5事業	(62.5%)	
	C	1事業	(12.5%)	
	未実施	事業	(0.0%)	
				1.1
				平均点
				1.3

※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

⑪	次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 適正な維持管理をするための施設の長寿命化対策を実施するとともに、将来に向けて下水道の維持管理費の削減と効率化を図るため、公共下水道と農業集落排水事業を併せた汚水処理の方法を検討する。 また、雨水ポンプの増設、直接放流管の整備を行い、床上・床下浸水被害の軽減を図る。
委員会評価		現状維持	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。